

元年上目
外務省
事務系彙報件

3-1810

0201

坂田

第17期
第5期
第6期
73

發第一三號
 露領水産組合副組長 喜久
 大正元年八月七日
 本報(新聞)八月八日(日) 露領水産組合副組長 喜久
 八月十五日(日) 堪察加漁況通牒
 拜啓本年度露領堪察加方面の漁況は就テハ既ニ御聞及ヒ河有之候カ今南都西堪察加の視察了歸
 朝キラレ後在浦潮斯德帝國總領事館書記生田中文平郎氏ノ談話ニ由ルニ同氏ハ六月廿日汽船「長九
 三ノ兩船ヲ出帆シ同月廿六日堪察加西海岸オハラニ到着シヨシニゴチカラ經テホリシニレツキ第一第二
 三號船ヲ同漁場ニ廻航シ同漁場ヨリ順次北方ボリシニ各漁區ヲ巡廻シテ廿四日里ナリ細野氏漁
 場ニ赴キ同漁場ニ於テ七月五日ノ網卸シニ招カレ陸路増川氏漁場ニ戻リテヨシニ九ニテ同氏漁
 フカ河口南方ナル同氏漁場ニ着シ此處ヨリ徒歩シテ沿岸各漁場ヲ訪ヒヨシニ同氏漁場ニ於テ同月十四日露
 國漁業者ミヨシノ小蒸汽船ヲオセバカヤ河口ナラズカヤ河口ニテヨシニ同氏漁場ニ至リテヨシニ同氏漁
 漁場及キツカヤ河口食品株式會社ノ經營ニ係ル紅鮭罐詰製造所ノ盛大ナル狀況ヲ視察シ廿三日里氏漁
 場ヨリ罐詰手筒生鮭九千尾並ニ罐詰三百石ヲ積取リシ汽船「錦旗丸」ニ便乗シテ廿九日青森ニ到着シ南
 洋北元年十二月十八日(日) 第二報受

館ヲ經テ卅三日東京ニ歸着セラレタリ。...

本年氣候例年ニ比シテ寒冷ナル爲ニ、鮭鱒群來期ニ亦從テ遲ク居ルカ如ク、森本新太郎氏漁場ノ如ク、...

從テ收獲ノ額マツタル箇處ナク、...

本年ハ結局七八分ノ漁ニ終ルニハ、アラスカト悲觀シ居リシ者モアリタル由。

諸般ノ設備完成シ居ルヲ以テ、...

紅鮭鱒約千兩ヲ製造シタリト云フ。

同氏巡廻中陸上處々ニ配置セラレ、...

ルニ會ヒ同氏ハ漁場監視ノ狀況ニ付會談セント欲シタルモ、...

犯則ノ爲、漁場監視官ブシコフ氏ニ圖書ヲ作成セラレ、...

漁場一般ノ衛生狀態、左迄惡シキニアラサルモ、...

阿部氏等、...



同船之ヲ露國風船ニ製造シ浦潮ヲ經テ海路彼得堡ニ輸送スル計畫ナリト云フ
電信局目下ヨリシベリヤ海岸ヲ距ル七露里ノオオウチヨウ村ヲ建設中ニテ秋季迄
ニ工事竣成シ漸次ガキリ及オホトスクヲ運給モシタル管ナリト云フ
尙同氏ハ今回ノ巡廻中漁場到ル處ニテ組合員諸氏ヲ招待シテ深ク感謝スル所ナリト附言セラレ
タリ
同書記者調査ニ依ル據察加南方ニ三漁區ニ於ケル漁獲日誌左ノ如ク(註録ヲ合算ス) 七月三日ヨリ
同書記者調査ニ依ル據察加南方ニ三漁區ニ於ケル漁獲日誌左ノ如ク(註録ヲ合算ス) 七月三日ヨリ
同書記者調査ニ依ル據察加南方ニ三漁區ニ於ケル漁獲日誌左ノ如ク(註録ヲ合算ス) 七月三日ヨリ
同書記者調査ニ依ル據察加南方ニ三漁區ニ於ケル漁獲日誌左ノ如ク(註録ヲ合算ス) 七月三日ヨリ
同書記者調査ニ依ル據察加南方ニ三漁區ニ於ケル漁獲日誌左ノ如ク(註録ヲ合算ス) 七月三日ヨリ

十三日 三〇五〇 二七四四 六二〇
十四日 二九〇〇 二六〇〇 六一〇
十五日 二八〇〇 二五〇〇 六〇〇
十六日 二七〇〇 二四〇〇 五九〇
十七日 二六〇〇 二三〇〇 五八〇
十八日 二五〇〇 二二〇〇 五七〇
十九日 二四〇〇 二一〇〇 五六〇
二十日 二三〇〇 二〇〇〇 五五〇
二十一日 二二〇〇 一九〇〇 五四〇
二十二日 二一〇〇 一八〇〇 五三〇
二十三日 二〇〇〇 一七〇〇 五二〇
二十四日 一九〇〇 一六〇〇 五一〇
二十五日 一八〇〇 一五〇〇 五〇〇
二十六日 一七〇〇 一四〇〇 四九〇
二十七日 一六〇〇 一三〇〇 四八〇
二十八日 一五〇〇 一二〇〇 四七〇
二十九日 一四〇〇 一一〇〇 四六〇
三十日 一三〇〇 一〇〇〇 四五〇
三十一日 一二〇〇 九〇〇 四四〇
三十二日 一一〇〇 八〇〇 四三〇
三十三日 一〇〇〇 七〇〇 四二〇
三十四日 九〇〇 六〇〇 四一〇
三十五日 八〇〇 五〇〇 四〇〇
三十六日 七〇〇 四〇〇 三九〇
三十七日 六〇〇 三〇〇 三八〇
三十八日 五〇〇 二〇〇 三七〇
三十九日 四〇〇 一〇〇 三六〇
四十日 三〇〇 〇〇 三五〇
四十一日 二〇〇 〇〇 三四〇
四十二日 一〇〇 〇〇 三三〇
四十三日 〇〇 〇〇 三二〇
四十四日 〇〇 〇〇 三一〇
四十五日 〇〇 〇〇 三〇〇
四十六日 〇〇 〇〇 二九〇
四十七日 〇〇 〇〇 二八〇
四十八日 〇〇 〇〇 二七〇
四十九日 〇〇 〇〇 二六〇
五十日 〇〇 〇〇 二五〇

高津養喜八
二七、六〇〇
當組合ニ達シタル情報ニ依リハ西堪察加中部方面ニ於テハ去月二十一日迄ニテラジマチ西川氏漁區ニ於
テ鮭鱈合算シテ三百石ケクタ六百四十石、増田匠作氏テジマチ三漁區合計二千石ノ由ニシテ沙々シ
カラ云々云々東堪察加方面ニ西海岸ニ比シテ一般ニ好況ヲ傳ヘ竹村仁平氏ウカ漁區ハ七月三日ヨリ同
十三日ヨリ至ル十日間ニ五百石ノ近藤伸秀氏ウカ漁區ハ七月二十日迄ニ二千



坂井 定吉氏 第三三五號 同 第五 同 河北四露里半 鮭 千三百七十八石
 同 氏 第三二六號 同 第六 同 河北二露里半 鮭 七百六十八石
 同 氏 第三二六號ア 同 第七 同 河南二露里半 鮭 七百三十五石
 高橋 助七氏 第二六六號 同 第八 同 河南四露里半 鮭 千八百二十五石
 坂本 作平氏 第三二九號 オセルナヤ河 千八百石
 山崎信太郎氏 第三〇號 同 第四 同 河北八露里半 約 五百石
 堤 清六氏 第三二二號 同 第六 同 河北四露里半 二 千八百石
 前記十箇所ノ鮭獲高ハ合計一萬五千五百石ニシテ一漁區平均千五百五十石ニ過キ之ヲ昨年ノ同
 漁區十箇處ノ漁獲高二萬八千五百五十六石(總合)ニ比スレバ一萬三千三百五十六石ノ不足ナリ尤モ其
 後二週間ノ獲漁期天候順調ニシテ魚類ノ群來濃厚ナリトセハ此不足額位ハ補填シ得シヤモ知レシ
 候
 同方面以北オハラ及オロンヤレチカ附近ノ漁況ハ未タ詳カナル通信ニ接セザレバ遺憾ナカラ茲ニ通信
 スルヲ得ス候但オロンコイ方面ヨリ獲漁高ハ各方面異リテ十箇處ノ漁況ハ右記ノ通り
 小澤幸一郎氏 第一七一號ア ツオロンスコイ第七 同 河北二露里半 鮭 二千二百石

同 氏 第一七二號 同 第八 同 河北八露里半 二 千三百石
 坂井 定吉氏 第一七二號 同 第七 同 河北七露里半 二 千八百石
 同 氏 第一七一號 同 第八 同 河北二露里半 三 千三百石
 増田 匠作氏 第一七九號ア ツジユマチスキ一第二 同 河南四露里半 二 千七百石
 同 氏 第一七九號ア 同 第三 同 河南六露里半 千 七百石
 同 氏 第一七九號ベ 同 第四 同 河南八露里半 千 九百石
 西川 萬三郎氏 第一七九號ウ 同 第五 同 河南十露里半 千 五百石
 同 氏 第一七九號ケ 同 第二 同 河北二露里半 三 千石
 石九 好助氏 第一七九號エ 同 第三 同 河南三露里半 二 千三百石
 合計一萬九千石一漁區平均千七百石強ノ相當成績ヲ示シ居候得共其後毎日獲漁増進致シ居候事ト存
 シ候
 次ニ東海岸ノ漁況ハ堪察加河附近ノ漁區コソ多少好成績ヲ舉ケ居ルヲウカサドランカ河河間ニ介在ス
 ル漁區三十三箇處ノ漁況ハ最近ノ通信ニ據ルハ頗ル不振ノ狀況ニシテ近年稀シナル不漁ト申スルニ候
 今其獲漁高ヲ漁區ノ順序ニ依リ列記セハ左ノ如シ
 西川 萬三郎氏 第三二七九號 ア ドランキンスキ一 第六 同 河南六露里半 千 八百石
 西川 萬三郎氏 第三二七九號 ア ドランキンスキ一 第三 同 河南三露里半 二 千八百石



發第九號
 大正元年八月二十四日
 露領水産組合副組長 高井義喜 久
 野村
 殿
 拜啓本年度堪察加方面ノ漁況ニ就テハ本月七日付發第三號及本月十六日付發第二五號ヲ以テ二回御
 通牒致置候處其ノ後一柳氏積取船香椎丸ヲ報告ニ依レハ堪察加西海岸第二七五號ヨリ第三六
 二號ニ至ル二十二箇所分ニ對スル本月十一日迄ノ總漁獲高ハ約三萬五千石ニ比スレハ約五割七分ノ漁況ニ
 シテ同漁區昨年度ノ總漁獲高六萬九千餘石ニ比シテ平均三千四百四十餘石ニ比スレハ約五割七分ノ漁況ニ
 シテ又クルトゴロフスキノ附近ノ漁況ハ本月十九日迄ノ處約千石乃至千四百石ニシテ昨年度同附近ノ平
 均漁獲高約三千石ニ比スレハ約六割ニ當タル漁況ナリ而シテオホキヤノ方面ニ於ケル漁況モ本月十九
 日迄ノ調査ニ依レハ昨年ニ比シ約六割七分ノモノニ御座候
 尙本月九日以後云々上風ナレハ其魚群ノ來遊總數ヲ稀薄ニシテ其日平均四五十石ノ入山ニ有之候故漁期

終了切迫之際此ノ不況ヲ挽回スルニ到底覺東方多昨年ニ比シ本年同方面ノ漁獲高ハ約六七割上
見大差ナカラント被存候也(第六百廿六ノ一ニ照ス)

右漁況ニ付詳細別表ニ依リ御承知相成度爲御參考及御通牒候也(一ノ五ノ一ニ照ス)

四十四年、四十五年度漁獲高及其ノ歩合

第七五號同	第四國、水産社	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第七六號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第七七號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第七八號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第七九號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八〇號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八一號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八二號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八三號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八四號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八五號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八六號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八七號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八八號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第八九號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九〇號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九一號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九二號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九三號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九四號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九五號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九六號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九七號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九八號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第九九號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三
第一〇〇號同	井井井井井	三、〇〇八	三、五〇〇	〇、三三

第七一號同	第七同	人	二、四六三	一、五〇〇	〇、六一
第七二號同	第十五	小熊幸一郎	一、四九五	二、〇〇〇	一、三〇
第七三號同	第十四	山口猪之松	三、〇六四	一、五〇〇	〇、四九
第七四號同	第十三	佐伯萬之助	二、六八九	一、二〇〇	〇、四九
第七五號同	第十二	山崎信太郎	三、四〇九	一、八五〇	〇、五九
第七六號同	第十一	高橋善平	三、二五七	一、四〇〇	〇、四三
第七七號同	第十	増川三郎	二、三五六	一、七〇〇	〇、七二
第七八號同	第九	柳沖次郎	三、三三〇	二、三八五	〇、七二
第七九號同	第八	野富次	三、四七三	二、五七五	〇、七四
第八〇號同	第七	野富次	二、一〇五	二、〇〇〇	〇、九〇
第八一號同	第六	竹内六一郎	二、〇四二	一、八〇〇	〇、八八
第八二號同	第五	西村忠一	三、六〇〇	一、八〇〇	〇、三三
第八三號同	第四	中村多四郎	一、三〇〇	一、三〇〇	〇、三三
第八四號同	第三	中村多四郎	一、三〇〇	一、三〇〇	〇、三三
第八五號同	第二	森本新太郎	六、三三〇	三、八〇〇	〇、七六
第八六號同	第一	森本新太郎	六、三三〇	三、八〇〇	〇、七六



一、右書留郵便ハ到達次第開封スルモ開設出願希望漁區屆書ハ開封セズ只受付番號ヲ付シ其ノ儘十
 用ニ由リ開封期迄組合員備付公認漁區屆書受付所内ニ保管シ置ク事トシ其書留設置ニモ出
 一、前記漁區屆書受付所ニ於テ十月十日各支部代表者三名ヲ立會シ開封スル事ヲ決定スルハ
 一、審査結果新規漁區申込料不足並出願手續ノ誤謬等發見シタル時其ノ旨届出込通告
 一、申込料領得日期ハ十月十日ヨリ前日ヨリ
 一、昨午漁區出願地點ヲ近距離ノ河口ヨリ測量セテ反對距離ノ河口ヨリ測量シ國財廳ニ出願
 一、申込料組合員アリテトシ同應ニ於テ發見シ自今斯カ形不規則ノ出願ヲ爲サシムル様注意アリ
 一、シト申越シ來リ外レハ本年即提出ノ届書ニ於テ最近距離ノ河口ヨリ測量シ地點ヲ記入セラレ
 一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス
 一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス
 一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス

存及御通報候也

高井 義喜 八

一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス
 一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス
 一、開設出願漁區ノ届書ハ締切期限後一週内ニ翻譯及整理ヲ終ヘ十月十日ヲ期シ直接ハワロフスク
 一、組合員ノ踏査結果を新規漁區申請書ニ添付シ組合員一般ノ爲メニ有望ナリト認め
 一、漁區ハ申込料ヲ添付セズ別紙ニ記載シ組合員届出テラレナハ豫備漁區トシテ組合員出願ス

高井 義喜 八

高井 義喜 八

高井 義喜 八

高井 義喜 八

發第三三號

大正元年八月二十四日、露領水産組合副組長、高非義喜久

殿

極東漁業株式會社設立ノ件

堪察加西海岸「ウオロフスカヤ」河ニ於ケル「ア、ゾ、ナデツキ」租借ニ係ル漁區ヲ讓受ケ事業ヲ擴張ス
ルカ爲メ浦潮商「ア、ゾ、スウイデルスキ」發起人ト爲リ株式會社ヲ組織セントシ之レカ定款ノ認可
ヲ申請シタル處本年露曆四月十日勅裁ヲ經タル旨同七月四日發刊法令集第二部第九十三號ヲ以テ發表
セラレタリ右定款ハ七十五條ヨリ成リ目的ハ「ナデツキ」ノ事業ヲ繼續シ之レカ設備ヲ擴張シ更ニ
漁區ヲ租借スルヲミナス自己製産品以外尙地人ノ依頼ニ應ジ之ヲ露國內地及海外ノ市場ニ供給セ
ントスルニ在リ資本金ハ百萬留シテ極東漁業株式會社ト稱シ本社ヲ露都ニ置ケリ該會社今後ノ活動
如何ニ依リ我漁業者ノ有力ナル競争者トシテ隨テ漁區ヲ競買スル處鮮少ケラ分ヘシ同社
右及報告候儀具、高非義喜久、露領水産組合副組長、高非義喜久、露領水産組合副組長、高非義喜久

○

○

○

○

發第六三號
大正元年九月二十三日
露領水産組合

樺察加漁況第四回通牒

拜啓秋冷ノ候各位益御隆昌奉賀候陳者樺察加方面ニ於ケル本年ノ漁況ハ既ニ三回御通報致置候處其後
漁場ヨリ歸來セル當業者ニ就キ聞キ取リタル儘玆ニ第四回通牒ヲシテ御報告申上候所ニテハ
初而昨年ハ各漁場孰レモ豫想外ノ豐漁ニシテ其ノ漁獲ノ増減ハ殆ソト漁場ノ良否ニ關セズ只食糧ニ供
給ト漁夫人員ノ多寡トニヨリ左右セラルタル觀アリシカ如ク魚類ノ群來頗ル濃厚ニシテ到處食糧ノ
缺乏及勞力ノ不足ヲ訴ヘシ爲本年ハ之ニ鑑ミ各漁場トモ營業ノ規模ヲ大ニシ漁場ノ設備漁夫ノ雇入及
食糧ノ買入等ニ全力ヲ注入シ不漁ノ如キハ毫モ念頭ニ浮カズ大々漁ヲ想像シテ勇マシク出漁ノ途ニ上
リシニ反シ其ノ漁獲高ハ昨年ノ三分一ニダモ及バサル豫想外ノ不成績ヲ示セシハ實ニ嘆息スル以外無
之候此ノ不況ノ原因タル當業者ノ談話ヲ綜合スルニ(一)潮流ノ變化ト(二)天候ノ關係トニ在スルモノ
ノ如ク三候ニテハ(一)潮流ノ變化ニ關シテハ本年ハ出漁者ニ一般以異口同音ニ證明スルトヨロシシ其ノ結果例
本年樺察加沿海ノ潮流ニ變化アサシキ出漁者ニ一般以異口同音ニ證明スルトヨロシシ其ノ結果例
年ノ海温約五十七度ナルニ本年ハ六度ノ低下ヲ示シテ五十六度ニ止マリ爲ニ魚類ノ群來期ヲ遅延セシ
メ口ホリシキレチカ江方面ノ如キハ本年ナレバ七月止旬既ニ魚類ノ群來ヲ見ルニ本年ハ七月廿七日
ニ至リ漸ク其ノ群來期ニ入りタリトノコト員候交シテオモハシク北方面ニ到ル間

大正元年四月十日

漁場ニ於ケル魚類ノ群來期ハ例年ナレバ八月三十一日頃迄連續シ其ノ間尙盛シメ魚類ノ止網見
ルヲ常トスルニ本年八月十三日ニ至リテ漸然上綱ナク漁夫ノ食料乏ハ之ヲ得水手ト能クサ水ニ至リ
シトコトモ沿岸ヲ通シ概シテ魚類ノ來游期後レシ上群來亦稀薄ニシテ漁期短カシコトモ全ク
潮流ノ不漁ニ影響セシ一原因ト被存候例年絶トテ止網モシヨトナカシク鮫ノ「ヨル」ニ「ヨ」ニ附近漁場
ニ於テ漁獲セラレシコト並ニ昆布ノ盛ニ流レ來リシコト等モ亦潮流變化ノ一現象ナルベシト被存
候
本年魚類ノ群來ハ北方ヨリ南方ニ進ムニ從ヒ二日ツ、後レタルハ事實ニシテ之レヨリ考フレハ魚類
群來ノ北方ヨリ漸次南方ニ向ヒテモ、後レタルハ推測セラレ候從來魚類ノ上綱南方ノ北方ニ先ツヨト三日
早キヨトハ一般當業者ノ認ムル處ナリシニ不拘本年斯カル變調ヲ呈セルハ正シク潮流ノ變化ヲ破カム
ルモノニシテ此ノ變調モ亦不漁ノ一原因トシテ注意ヲ拂フベキ證左ニ存候
本年ノ天候ハ晴天稀ニシテ降雨多ク爲ニ河川ノ濁流海ニ注ガシヨト著シク魚類ノ群來ヲ妨クシモ亦天
候ノ不漁ニ影響セシ一原因カト被考候殊ニ本年ハ大時化ノ襲來例年ヨリ頻繁ニシテ西海岸北部ニテハ
八月五日ヨリ九日ニ亘リシモノヲ最モ大トシ中部以南ニ於テハ同日ヨリ十二日迄連續セシモノ
最モ其ノ威ヲ逞フシタル由ニテ之カ爲漁網漁具ヲ破損セシモノ多ク遂ニ盛漁期ヲ失シタルコトモ亦不
漁ヲ招致セシ原因カト存候
本年度西海岸ニ於ケル漁獲高ハ「イサ」方面ヨリ「ウオ」方面ニ掛ケテハ豫想高ノ約三分一
又「ホリ」方面ニ於テハ約四分一ト見ハ大差ナカラント存候今鮫漁獲數量ノ割合ヲ見ルニ
「イサ」第一三二七號ウエヨリ同第一四三號ニ至ル間ハ鮫六分四十分又「イサ」第二四四號ヨリ「ミト
カ」附近ニ至ル間ハ鮫三分七分、ボリシヤレカ川以南「オセル」ニ至ル間ハ鮫六分四十分ノ割
合ニ御座候而シテ本年ノ鮫ハ例年ニ比シ其ノ形體大ニシテ目廻リ多ク鮫五百二十乃至五百五十枚

鮫三百二十乃至四百四十枚アリトハ四日市魚市場ニ於ケル定評ニ御座候
前記ノ如ク本年ハ各漁場トモ不漁ニ終リシ爲メ漁獲量減用食鹽漁場ニ殘留セルモノ夥シク到ル處鹽ノ
山ヲ築キ居ル有様ナリト「御座候」
本年ノ漁場取締ハ例年ヨリ嚴重ニシテ陸上官吏ノ配置ハ「河川」ヨリ隣接河川ニ到ル間ニ二名宛配置セ
ラレ而シテ漁業監視官「アシ」ハ西海岸一帯ノ總指揮官トシテ「ラン」ニ搭乗シ漁場ノ監視ニ努メ
漁場看守長「カウ」ニ「ナル」其ノ麾下ニ在リテ他看守等ヲ指揮督勵致シ候本年ハ從來履行ハレ
勝ナリシ帆船上ノ鹽切モ絶對ニ其ノ跡ヲ絶チシヨリ官吏等ハ當業者ヲ咎ムハキ犯則行爲ノ他ニ無キ
ヲ見之迄餘リ注意ヲ拂ハナリシ魚類ノ放棄(衛生規則違反)ニ對シテ五月蠅小言ヲ列ベタリトノ事ニ
候
其他出漁中當業者ノ不便ヲ感セシハ薪材ニ供スベキ沿岸ノ流木減少セシ事ニテ之カ蒐集ハ爲三羽船
ヲ河川對岸迄赴キシモ少カラナリシガ「イサ」方面ニ於テ着場以來只三週間ノ短時日間其ノ蒐集ヲ
許可セシモノナリシヲ以テ各漁場トモ薪材缺乏シ爲ニ大ニ困却セリトノ事ニ御座候就中「グロ」ゴロ
「ウ」漁場附近ニ配置セラレシ看守ノ如キハ流木蒐集ノ爲ニ羽船ヲ河川對岸ニ渡スヨトサ「許可」セテ
リトノ事ニ候斯ル状態ナレバ來年度ハ流木ヲ目ノ出漁ノ途ニ就クモモ豫メ浦鹽ニ於テ伐木免
狀ノ下付ヲ乞ヒ流木不足ノ場合ハ漁場附近ニ繁茂セル樺ヲ薪材トシテ伐採スルモ差支ナキ様ノ手續ヲ
講シ置クコト當業者ノ必要トシテ思惟致候
尙漁場監督上昨年ニ比シ異ナリシ三三ノ點ヲ附記セバ本年ヨリ鹽陸揚證明書ヲ下付ニ對シ監視官「ハ
シ」ヨリ「留」留五十哥施ヲ撤收シカ來年度ヨリ原產地證明書ヲ下付ニ對シテモ同様手續ヲ撤收ス
ル旨語出シテノ事ニ候又「ボリ」シヤレカ川附近ニテハ本年處々改良網ヲ使用セシ處アリシカ監視官
「シ」ヨリ「最」之レ注意ヲ拂ヒ親シク建場ニ臨檢シテ揚網ヲ命ジ協約ニ依リ許可セラレ、建網ハ日

本形普通式ニシテ今使用スル改良網ニアラサル旨ヲ説明シ以來改良網ノ使用ヲ禁セサル可カラスト言
 明シタル由ニ候
 本年ヨリ「ボリヤ」カレカ河川漁區ハ「カレカ」ニシテ「カレカ」會社ニ許可セラレ會社ニテ人夫露國人及朝鮮
 人計約七十名ヲ使用シ曳網三統ニテ三箇處ニ分カレ漁撈ニ從事セシメタルカ其ノ結果不成績ニテ八月
 一日迄ニ能員僅カニ一萬九千尾ヲ收穫シタルノミニテ「ボラス」ニモ足ラザリシガ餘ラモ同様收穫シタ
 リトノ事ニ御座候然ルニ同會社ノ經營ニ屬スル「ボラス」河川漁區ハ人夫數ニボリヤ「カレカ」下殆
 ント同一ナリシモ多年經營シ來リ設備完全ナル好漁場トテ其ノ成績頗ル良好ナリシヲ以テ「ボリヤ」
 ヤレチカ河川漁區ノ損失ヲ同漁區ノ收益ニテ補填シ得ベシトノ事ニ候又「ボラス」河川漁業者「ボ
 ノラ」ハ人夫三十名ヲ雇入レ同河川ノ漁撈ニ從事セシカ魚類ノ潮河稀薄ナリシ爲大失敗ヲ招キ管ニ鮭
 ノミナラス鱈ハ勿論ニ至ル迄悉ク鹽漬シタルトノコトニ御座候由是觀之本年度ノ不漁ニ管ニ邦人ノ
 經營スル海上漁區ノ「ボラス」露國漁業者ノ特許經營ニ係ル河川漁區ニモ及ヒ河海トモ未嘗有ク大不成
 績ニ終リタル次第ニ御座候「カレカ」土人ノ「老翁」ノ言ニ「本年ノ如キ魚類ノ潮河稀薄ナリシ
 ハ卅五年來未曾見ナリシ處ナリ」トノ由ニ御座候

堪察加西海岸
 (勝部氏調査報告)
 番 號 名 稱 租 借 者 四十四年度漁獲高 四十五年度漁獲高 調査月日
 一三七六 太刀川善吉 一七七三 一、二〇〇 八月二十六日
 一三七七 梶 榮次郎 一、二五〇 一、二〇〇 同
 一三七八 梶 榮次郎 一、二五〇 一、二〇〇 同
 一三七九 梶 榮次郎 一、二五〇 一、二〇〇 同

三九	同	第三八	稻川竹治	三九〇	同
四〇	同	第三七	米田六郎	三九〇	同
四一	同	第三六	稻川竹治	三九〇	同
四二	同	第三五	藤井猪之助	三九〇	同
四三	同	第三四	田代三吉	三九〇	同
四四	同	第三三	梶山石五郎	三九〇	同
四五	同	第三二	杉山石五郎	三九〇	同
四六	同	第三一	佐伯萬之助	三九〇	同
四七	同	第三〇	田代三吉	三九〇	同
四八	同	第二九	佐伯萬之助	三九〇	同
四八	同	第二八	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二七	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二六	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二五	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二四	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二三	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二二	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二一	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二十	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十九	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十八	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十七	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十六	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十五	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十四	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十三	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十二	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十一	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第十	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第九	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第八	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第七	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第六	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第五	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第四	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第三	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第二	南彌三郎	三九〇	同
四八	同	第一	南彌三郎	三九〇	同
五〇	同				

七二シエ	同	ブリエムスキ第三	一柳伸太郎	三、四七二	五、八〇〇	同
七二セ	同	同	同	三、三三〇	二、二〇〇	同
七二イ	同	同	同	三、三五六	二、二〇〇	同
七二ケ	同	同	同	三、一五六	二、七八〇	同
七二ク	同	同	同	三、四〇九	二、四五〇	同
七二コ	同	同	同	二、六八九	二、二〇〇	同
七二サ	同	同	同	三、〇六四	二、六〇〇	同
七二タ	同	同	同	二、四九五	二、〇〇〇	同
七二チ	同	同	同	二、四六三	一、六〇〇	同
七二リ	同	同	同	三、三三八	一、〇〇〇	同
七二ニ	同	同	同	三、四三四	一、〇〇〇	同
七二ハ	同	同	同	三、四〇五	二、〇〇〇	同
七二ニ	同	同	同	三、四〇五	二、〇〇〇	同
七二ハ	同	同	同	三、七八八	二、〇〇〇	同
七二ニ	同	同	同	三、一八三	二、〇〇〇	同
七二ハ	同	同	同	二、三五四	二、〇〇〇	同
七二ニ	同	同	同	二、三五四	二、〇〇〇	同
七二ハ	同	同	同	二、五三三	二、〇〇〇	同
七二ニ	同	同	同	一、〇八三	四、五〇〇	同

(西川氏調査報告) 第四 帝國水産株式会社

(八月廿四日付第三回通牒抜萃)

八月十四日

一五三	同	同	第五	高橋助七	六、九三三	一、七〇〇	同
一五五	同	同	第七	高橋善平	二、七三八	一、三〇〇	同
一五五ア	同	同	第十二	竹村醇多	三、〇六八	一、二〇〇	同
一五五ウ	同	同	第七	朝井猪太郎	九、二五	一、三〇〇	同
一五五エ	同	同	第八	宮崎次九	二、六七二	一、三〇〇	同
一五五カ	同	同	第九	小熊幸太郎	三、三八三	一、二五〇	同
一五六	同	同	第二	朝井猪太郎	一、一九四	一、五〇〇	同
一五七	同	同	第四	針山清次郎	一、四六四	一、三〇〇	同
一五九	同	同	第五	今井平一郎	二、四一六	一、四〇〇	同
一六〇	同	同	第十一	今井平一郎	一、一五九	一、八〇〇	同
一六二ア	同	同	第十六	今井平一郎	二、四一五	一、五〇〇	同
一六二カ	同	同	第十七	森本新太郎	二、三〇〇	一、六〇〇	同
一六二ク	同	同	第二	中村萬之助	二、三〇〇	二、〇〇〇	同
一六二ケ	同	同	第七	西村忠一	三、六〇〇	一、八〇〇	同
一六二コ	同	同	第八	岩瀬水産合資會社	二、〇四二	一、八〇〇	同
一七〇	同	同	第九	佐野留吉	二、〇四五	一、九〇〇	同
一七一	同	同	第十八	佐野留吉	二、〇四五	一、九〇〇	同

二七八八	同	第六	花澤平吉	六七〇	一四	同
二七八七	同	第七	増田源作	一〇八九	同	同
二七八六	同	第八	兒島佩三	一九三六	同	同
二七八五	同	第九	藤井猪之助	一五六一	同	同
二七八四	同	第十	同	一八八〇	同	同
二七八三	同	第十一	東洋物産株式会社	一七〇〇	同	同
二七八二	同	第十二	西川篤三郎	一四二三	同	同
二七八一	同	第十三	同	一四二八	同	同
二七八〇	同	第十四	同	二四七二	同	同
二七八	同	第十五	同	三五二〇	同	同
二七九	同	第十六	同	二四二四	同	同
計	同	第十七	同	外一七〇	同	同
合計	同	第十八	同	外七〇	同	同
	同	第十九	同	三八〇	同	同
	同	第二十	同	七〇〇	同	同
	同	第二十一	同	五六一	同	同
	同	第二十二	同	一八八〇	同	同
	同	第二十三	同	一七〇〇	同	同
	同	第二十四	同	一四二三	同	同
	同	第二十五	同	二四七二	同	同
	同	第二十六	同	三五二〇	同	同
	同	第二十七	同	二四二四	同	同
	同	第二十八	同	外一七〇	同	同
	同	第二十九	同	外七〇	同	同
	同	第三十	同	三八〇	同	同
	同	第三十一	同	七〇〇	同	同
	同	第三十二	同	五六一	同	同
	同	第三十三	同	一八八〇	同	同
	同	第三十四	同	一七〇〇	同	同
	同	第三十五	同	一四二三	同	同
	同	第三十六	同	二四七二	同	同
	同	第三十七	同	三五二〇	同	同
	同	第三十八	同	二四二四	同	同
	同	第三十九	同	外一七〇	同	同
	同	第四十	同	外七〇	同	同

發第一〇五號
大正元年九月卅日

露領水産組合

外務省 露領水産組合 知照書 殿

○米國ニ於ケル鮭鱈詰初相場ノ件

拜啓世界ニ於ケル紅鮭鱈詰ノ主産地ハ米領「アラスカ」英領「カナダ」及露領「堪察加」三箇處ナルニ當業
者一般ノ知悉スル處ニ有之就中前二箇處ハ其ノ産額最モ多大ニシテ從テ該地方ノ製造高ノ多寡ハ忽チ
該島ノ相場ニ影響ヲ及ボス状態ニ御座候ニ共我堪察加産鮭鱈詰ノ如キハ世界ノ總詰市場ニ於テハ未ダ
實ニ微々タルモノニ候然レドモ露領堪察加ニハ總詰ニ最モ適當セル紅鮭ノ産額比較的ニ多ナルヲ以テ
將來總詰製造業ノ發達スルニテハ歐米市場ニ於テ實ニ前記二箇處ノ製品ト相並馳スルハミナラス遂ニ
小彼等ヲ壓倒スルニ至ルヘシト稱スルモ強テ誣言ニアラスト被存候就最近三箇年我組合員ノ露領堪察
加特於ケル紅鮭鱈詰業ノ沿革ノ大略ヲ述ヘンニ四十三年度ハ本組合補助獎勵ノ下ニ組合員堤清六氏率
先同島東海岸「ウスケ」村「カキタカ」漁場ニ於テ七百兩ヲ試驗的ニ製造シ其ノ製品ヲ歐米市場ニ輸出
セシニ「ウスケ」加奈太ノ製品ト同ニ視セラレハ「至リシ」ヲ以テ有利ノ事業ト認ムル者多ク昨年ニ
於テ其ノ製造場ノ増加ヲ觀本年ノ如キハ同沿岸ニ於テ組合員ノ經營ニ係ルニ製造場八箇處製品二萬
三千兩（價格二十五萬圓）ヲ産出スルニ至リ申候本事業ハ製魚改良上ヨリ見ルモ將又漁業經濟上ノ收
益計算ヨリ打算スルモ益々進歩發達スルニ至リ實有利ナル事業ト被存候事也
前記米領「アラスカ」英領「カナダ」紅鮭鱈詰ノ世界ニ於ケル鮭鱈詰ノ主位ヲ占ムルヲ以テ豫メ産地ニ
於テル本年ノ初相場ヲ知照スルニ其ノ製品ヲ海外市場ニ輸出セントスル我當業者以テ爲多大ノ利益ト存

大正二年四月十日 露領水産組合 第二部 披露

千九百十二年ニ於ケル製品価格ノ指定ヲ延期スルコトハ最早不適當トナリ現ニ北西部ニ於ケル各製造家ハ昨日ニ至リ新相場表ヲ發表セリ其ノ引合價格ハ昨年ニ比シ甚ク低廉ニシテ東部ノ間屋カ豫期モシモノヨリ低ク「ソノクハ」ノ値段段ヲ餘キテハ新相場ハ何レモ著シキ下落ヲ示シ殊ニ「ビンク」ニ於テ甚ククシテ六十五仙ニ下レリ隨テ「ビンク」ノ値段段ハ今後三價ニ付十五仙ノモノヲシテ十仙トナラシムルニ至ラン斯ク低廉ナル相場ハ千九百二年以來只二回アリタルノミ即チ千九百三年「ビンク」ノ相場五十仙ニシテ千九百九年ニハ六十仙ヲ保持セリ價格ハ餘リ低廉ナラン多ク小製造家ハ其ノ引合セ相場ヨリ高價ヲ望ムル爲製造家ニ依リ指定サレタル安値ニ甚ク不満足ニシテ賣却セザリシ製造家ハ持荷スル旨申出タリ或ル有名ナル間屋ハ紅鮭ヲ三十日以内ニ一弗五十仙ニ進ミ「ビンク」ハ間モナク七十五仙迄上騰スヘキ旨宣言セリ他ノ有名ナル代理商ハ低廉ナル原因トシテ左ノ如ク云ヘリ

製造高ハ多クノ者ガ豫想セシヨリ多大ニシテ戸當リニ數フルトキハ本年ハ我々ノ從來豊産トナセシ數量ニ達スルヲ得ヘク加之昨年ノ持越品モ亦大ナルカ爲ナリ
 下落ハ已ムヲ得ス現狀ハ即チ下落ノ已ムヲ得サル所ニシテ予ハ其ノ指定價額ニ於テモ何等ノ滯滞ナク迅速ニ取引行ハルモノト信ス
 左記ハ即チ過去十五年間ノ初相場ナリ

千八百九十七年度(明治二十年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 立 一、〇五〇
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 〇、八〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 〇、九〇〇

千八百九十八年度(明治二十一年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 一、〇五〇
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 〇、八〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 一、〇〇〇

千八百九十九年度(明治二十二年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 一、二二五
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 一、一〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 一、〇〇〇

千九百〇一年度(明治三十三年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 一、六〇〇
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 一、一〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 一、〇〇〇

千九百〇二年度(明治三十四年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 一、五〇〇
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 一、〇〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 〇、九五〇

千九百〇三年度(明治三十五年)
 Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌーク鮭マスノスケト同様ナリ) 一、三三五
 Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド(地名)産紅鮭) 一、〇〇〇
 Alaska red (アラスカ産紅鮭) 〇、九五〇

千九百〇三年度(明治三十六年)

産地	立	罐	平	罐	半封度	罐
千九百〇三年度(明治三十六年)						
Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌイク)	一、三五〇	一、四五〇	〇、八五			
Puget sound sockeye (ピュージェトサウンド地名産紅鮭)	一、五〇〇	一、六〇〇	〇、九〇			
Alaska red (アラスカ産紅鮭)	一、三〇〇					
Alaska pink (アラスカ産ピンク鮭日本普通鮭)	〇、五〇〇					
千九百〇四年度(明治三十七年)						
Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌイク)	一、四五〇	一、五五〇	〇、九〇			
Puget sound sockeye (ピュージェトサウンド地名産紅鮭)	一、五五〇	一、六五〇	〇、九五			
Alaska red (アラスカ産紅鮭)	一、一〇〇					
Alaska pink (アラスカ産ピンク鮭)	〇、七〇〇					
千九百〇五年度(明治三十八年)						
Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌイク)	一、四五〇	一、五五〇	〇、九〇			
Puget sound sockeye (ピュージェトサウンド地名産紅鮭)	一、三五〇	一、五〇〇	一、〇〇			
Alaska red (アラスカ産紅鮭)						
Alaska pink (アラスカ産ピンク鮭日本普通鮭)						
千九百〇六年度(明治三十九年)						
Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌイク)	一、五〇〇	一、六〇〇	一、〇〇			

千九百〇七年度(明治四十年)

産地	立	罐	平	罐	半封度	罐
千九百〇七年度(明治四十年)						
Puget sound sockeye (ピュージェトサウンド地名産紅鮭)	一、四五〇	一、六〇〇	一、〇〇			
Alaska red (アラスカ産紅鮭)	〇、九五					
Alaska pink (アラスカ産ピンク鮭日本普通鮭)	〇、七五					
千九百〇八年度(明治四十一年)						
Columbia river chinook (コロンビヤ河産チヌイク)	一、六五	一、七五	一、〇五			
Puget sound sockeye (ピュージェトサウンド地名産紅鮭)	一、六〇	一、七五	一、〇五			
Puget sound pink (ピュージェトサウンドピンク鮭)	〇、七五	〇、八五				
Puget sound cohoos (ピュージェトサウンドコホ)	一、〇五	一、一五	〇、七五			
Alaska red (アラスカ産紅鮭)	一、一五					
Alaska kings (アラスカ産キング)	一、〇五					
Alaska cohoos (アラスカ産コホ)	一、〇〇					
Alaska pink (アラスカ産ピンク鮭)	〇、七〇					
Alaska chinns (アラスカ産チヌ)	〇、七〇					



Columbia river chinook fishery (理想的ロロンビヤ河産マスノスケ)	千九百〇九年度(明治四十三年)	一、六五	一、七五	一、〇五
Columbia river chinook standard (ロロンビヤ河産マスノスケ)		一、三五	一、三五	〇、八五
Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド産紅鮭)		一、三五	一、五〇	一、〇〇
Alaska red (アラスカ産紅鮭)		一、一五	一、三五	〇、八五
Alaska kings (アラスカ産マスノスケ)		一、一〇	一、二〇	〇、七〇
Alaska cohoes (アラスカ産コホーニ)		〇、六〇	一、二〇	〇、七〇
Alaska pinks (アラスカ産ピンク)		〇、六〇	一、二〇	〇、七〇
Alaska chinms (アラスカ産チャム)		〇、五七五		
Columbia river chinook fishery (理想的ロロンビヤ河産マスノスケ)	千九百十年度(明治四十二年)	一、七五	一、九〇	一、二〇
Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド産紅鮭)		一、六五	一、九〇	一、一〇
Alaska red (アラスカ産紅鮭)		一、三五	一、五〇	一、〇〇
Alaska kings (アラスカ産マスノスケ)		一、三五	一、五〇	一、〇〇
Alaska cohoes (アラスカ産コホーニ)		一、二五	一、四〇	〇、五〇
Alaska pinks (アラスカ産ピンク)		〇、八〇		
Alaska chinms (アラスカ産チャム)		〇、七七五		
Puget sound sockeye (ピューゼットサウンド産紅鮭)	千九百十一年度(明治四十三年)	一、九五	二、〇〇	一、三〇

Alaska red (アラスカ紅鮭)	一、六〇	一、七五	一、一五
Puget sound and Alaska medium red (ピューゼットサウンド及アラスカ産薄紅鮭)	一、四五	一、六〇	一、〇〇
Puget sound and Alaska pinks (ピューゼット及アラスカ産ピンク)	一、〇〇	一、一五	〇、七五
Puget sound and Alaska chinms (ピューゼットサウンド及アラスカ産チャム)	〇、九五		

大正元年九月四日付在晚香坡矢田ヨリ外務大臣ヘノ電報寫

當地ニハ初相場ノ定メナク相場ハ常ニ變動ス目下當地相場 Sockeye Salmon one case (四ダース入一箱ノ紅鮭罐詰) 九弗委細公債

○露國堪察加州「ペトロパウフスク」ニ地方裁判所設置ニ關スル件

露國堪察加州「ペトロパウフスク」ニ地方裁判所ヲ設置スル法律案ハ曩ニ露國立法府ヲ通過シ、六月二十六日裁可ヲ經テ公布セラレ又該裁判所々員ハ本年九月中ヲ以テ任命セラレ十二月十五日ヨリ事務ヲ開始ス、キ豫定ナル旨沿黒龍江總督府官報ニ掲載セラレタル趣「ニコラエウスク」駐在鈴木領事ヨリ報告有之尚ホ同州沿岸ニ出漁スル本邦漁業者ニ關スル裁判事件ハ從來浦潮地方裁判所ニ於テ管轄シ來リシ處前記「ペトロパウフスク」地方裁判所開設ノ上此等ノ事件ハ同裁判所ニ於テ審理スルコトト可相成旨併テ申報有之候ニ付此段及御通知候也

發第二四六號

大正元年十月二十四日

露領水産組合
殿
支那ニ於ケル鹽鹵商況

拜啓支那ニ南支那ニ於ケル鹽鹵ノ需要ハ前年來大倉組其ノ他ノ熱心ナル運動ニ因リ頓ニ増加シ來リ候處即承知ノ如ク本年度ノ露領鹽鹵ハ不成績ニ終リ從テ其ノ内地市場ノ聲價ハ一般ニ高値ヲ唱ヘ内地ノ需要ニ對スル供給モ不十分ナルハシテ近來漸ク其ノ輸出ヲ見ルニ至リ候處ヲ以テ在上海大規模業練ノ供給ニ覺東ナカルベシト思ハレタルニ近來漸ク其ノ輸出ヲ見ルニ至リ候處ヲ以テ在上海大規模業練習生(當組合囑託通信員)及大倉組ヨリ二三商況ヲ報シ越シ申候ニ付左ニ綜合シテ概略御通知申上候敬具
追而目下大倉組ヨリ各支店出張所々在地ニ於テ試賣中ノモノ約一萬五千俵(三千七百餘石)有之候
▲上海市況 近年ニ比ナキ上海七月ノ酷暑ハ鹽魚ノ輸入ヲ全然杜絶セシメ爾來約三箇月余其ノ跡ヲ斷タリ其ノ取扱店ハ上海箱莊(函館昆布共同輸入組合)ト稱スベキモノニシテ支那商四五軒ノ共同ナリ)ニシテ其ノ輸入船濠州號(太古公司)ニ〇三噸)ニテ昆布ト共ニ函館ヨリ新鱈(十箱箱詰)約一千餘箱(同)約二千二百餘箱ヲ輸入シタリ



當時止海方面ハコレヲ病流行最中待テ需要割合ニ少ク殊ニ前年來ノ安値ノ記憶尙新ニシテ到底引合
フヘキ値段ニ買進マシ其後漸ク需要期ニ入リ殊ニ産地薄收ノ真相市場ニ了解セラレ且入荷薄ナル
ヨリニ般ニ買進ニ四圓五廿錢以上海本船荷生手取ヨリ十月初旬ニハ五圓四十五廿錢造昇騰ノ中旬ニ
ハ更ニ五圓七八廿錢見當ニ進出漸ク内地相場ニ接近ヲ見ルニ至レリ同第ニ回入荷ノ買行ヲ見ルニ百
斤相場新品ハ四兩五匁(戦五圓九十八錢)圓ニ付ニ貫六百七十三匁ヲ最高トシ四兩(五圓三十二
錢)三貫七十五匁迄ニ圓品ハ最高三兩九匁(五圓十八錢)三貫八十四匁ヨリ最低三兩六匁(四
圓七十八錢)三貫三百四十匁ヲ示シキト云フ

第二回ノ輸入ハ十月二日上海入港ノ箱莊ノ借入船蕪湖號(太古公司一二七噸)ニヨリ兩館ヨリ新
蘭錫共約四千箱(ピレル箱)輸入セラレ新上品百斤五兩六圓六十五錢(二貫四百匁)ヨリ四兩五
匁(五圓九十八錢)三貫六百七十匁マテニ買行キ圓品ハ三兩二匁(四圓二十六錢)三貫七百六十
匁)ニテ僅々數時間ヲ以テ全部賣出出来セル盛況ヲ呈シ從ヒテ箱莊ニ於テハ更ニ第三回ノ輸入(約
七千餘箱ノ豫定)ヲ爲スヘク蕪湖號ハ去十月五日上海ヲ發シ兩館ニ向ヒタルハ本月末大ニ上海ヲ販
賣スニ至ルベシト云フ

小賣ノ景況ハ上海蕪湖號ノ如キ集散地ノ問屋卸値百斤七弗乃至八弗(六圓九十錢)ヨリ七圓七十錢ニ
當ル)ニシテ各地ニ於ケル小賣店ニテハ一斤銅貨十五六仙位ニシテ切賣ハ一斤約三仙ヲ以テ店賣シ
居レリ之レ昨年ノ二仙ニ比シテ著シキ差異ヲ示テ下級民ノ副業トシテハ稍高價ナル様ナキ能ハス而
シテ第三回ノ入荷ハ已ニ近在ノ最需要季節九秋獲終了ニ近ツク頃ナレハ果シテ第二回ノ如キ盛況
ヲ見ルニ疑問ナルモ歲暮ノ需要期ニ至レハ再ヒ活氣ヲ呈スルハ豫測スルニ難クモ現在ハ相應
ノ入荷アリタル爲一時持合居ル而已前途市場ニ投資的商談ヲ試ムルモノナキニ於テハ内地相場ニ出
合之ヘキ市價ヲ見ルニ至ルヘシ

▲大連及滿洲市況 九月下旬ノ組織ヨリ見本品ヲ發送シタル當時ハ該地方亦前年ノ安値先入主トナリ
案外買進ミヲ見ス一方内地ハ薄收ノ爲日々高値ヲ呼ビ大連市價ト著シキ懸隔アリタル爲本年度輸出
ハ其ノ數頗ル減少スヘキヲ豫想シタルニ最近漸時内地市價ト接近シ來レルヲ以テ年末頃ノ需用季ニ
入レハ相當引合ヲ見ルニ至ルヘシ最近同市場ニ入荷ヲ見タルハ鞍山商店ノ五百俵見當ニ過キス市價
ノ如キモ未タ雜平タル相場ヲ見サルモ十貫大連着値手取三圓六十錢見當(圓ニ付二貫七百八十匁)
ヲ唱ヘ居レシ

▲天津北京市況 此ノ方面ハ新市場ニシテ前年數百俵ノ入荷ヲ見タルノミニテ標準トスヘキ市價ヲ見
ナルモ前途有望ノ市場タルヘキヲ以テ目下大倉組ヨリ相應見本品ヲ積出シ試賣中ナリ

▲福州汕頭方面 此ノ方面ハ本年末々新錫ノ引合ヲ見ズ上海市價ヨリ尙安値ヲ唱ヘ居ル爲ナリ



發第三九〇號

大正元年十二月二十九日
露領水産組合

拜啓支那ニ於ケル鹽魚ノ商況ニ就テハ在上海大槻清三氏其他ヨリ報告アリ次第時々御通知申上置候處
該地市況毛追々内地市場ノ相場ニ出合フ迄ニ昂騰シ且ツ内地相場ノ高低ハ延ヒテ支那市場ニ銳敏ナル
影響ヲ與之ニ至リ最近日本内地ニ於ケル秋刀魚豐漁ノ結果鹽鮭ノ下向キトナルヤ直ニ支那殊ニ上
海ニ於ケル鹽魚ノ相場ハ上海着値百斤五圓五十錢見當ヲ唱フルニ至リタルカ如キ其ノ例證ト被考候茲
ニ前報後即チ十月中旬ヨリ本月上旬ニ至ル約一箇月間ニ於ケル上海市場鹽魚輸入數量並景況左ニ御報
告申上候候具(賣値ハ總々上海着値ニ同)
一、第三回入荷 十月十六日着 日米九 大倉組扱
新約四千餘俵 賣値百斤四兩五匁乃至四兩六匁(六圓二錢四分)
景況 箱莊第三回荷前後シタルヲ以テ半數ハ四兩六匁ニ直ニ出來シタルモ殘荷ハ月ヲ超ヘテ漸
二、第四回入荷 十月十七日着 筑前丸 三井洋行扱
新約一千三百俵 賣値百斤四兩八匁(六圓三錢四分)
景況 箱莊第三回ノ荷前後シテ到着スルヲ恐レ前記ノ値ヲ以テ先賣シテ着荷迄ニ引渡シタリ
三、第五回入荷 十月十九日着 春日丸 大來洋行扱
新約五百餘俵(四百七拾) 賣値百斤四兩七匁(六圓二錢四分)



景況 豫メ魚行ト契約セシヲ以テ着荷直ニ引渡シタリ
 四、第六回入荷 十一月二十一日着 蕪湖民 箱莊組合(第三四分)
 新鱈一萬三千七百七十六擔 買値四兩二匁乃至四兩五匁(五匁五十九匁乃至六匁十二匁四匁ニ付)
 景況 本邦各商店ヲ入荷ニ後レタルヲ以テ宜シカラス約半數ヲ四兩二匁ニテ賣却セシモ殘荷ハ四
 兩五匁以上ヲ持シテ賣放タス月ヲ起ヘテ四兩五、六匁ニテ全部賣約出來シタリト云フ
 五、第七回入荷 十二月二日着 筑前丸 三井洋行扱
 新鱈千三百俵(約一千擔) 買値四兩五匁乃至四兩八匁(四匁十二匁乃至六匁五匁三匁四匁ニ付)
 景況 箱莊ノ品ノ三兩二匁ノ後ヲ受ケタルヲ以テ當分賣出サザルコト、セシモ幸ヒ引返シ四兩五
 匁トナリシヲ以テ約半數ヲ賣却シ更ニ他店荷ノ處分後ヲ待テ殘ヲ四兩七八匁ニテ賣却シタリ
 以上ノ外尚聞ク處ニヨレハ箱莊第四回分ノ船モ近々到着ノ豫定ニシテ該船ニハ約千五百俵ノ鹽鱈ヲ搭
 載セリト云フ

發第三九二號

大正元年十一月二十九日

露國極東漁業者會議 領水產組合

拜啓本年度浦潮斯德市ニ於テ開催セラルヘキ露國極東漁業者會議ノ議事々項及漁撈上ノ新制限ニ就テ
 グリヨロカヤ、オクライナ紙上ニ左記ノ記事掲載セラレ居ルニ付爲御參考及御通知敬具

露國極東漁業者會議々事々項

- 一、昨年ノ會議ニ於ケル決議進行ニ關スル件
- 二、義勇隊航路ニ關スル件
- 三、義勇隊事業改善ト同事業ニ關聯スル沿岸貿易ニ關スル件
- 四、堪察加地方住民ノ使用漁場同住民ノ漁撈法選定ニ關スル件
- 五、漁魚類ニ對スル稅率並運賃率ニ關スル件
- 六、漁夫雇入契約ニ關スル件
- 七、堪察加地方土人ヨリ鮮魚若ハ製魚ヲ購買スル日本漁業者ノ權利ニ關スル件
- 八、漁業組合設置ニ關スル件
- 九、船積證書ヲ以テ魚類原產地證明書ニ代用スル件
- 十、領海十二哩以内ニ於ケル漁業絕對禁止ノ件
- 十一、領海外ニ於ケル漁獲セル魚類ノ製造ヲ河川漁區ニ限リ許可スル件
- 十二、國立銀行ヨリ漁業資本信用貸附ニ關スル件
- 十三、義勇隊ニ對シテ政府ノ補助ヲ受ケ、テ以テ食糧運送ノ義務ヲ負ハシムル件
- 十四、義勇隊ヲシテ日本人經營海面漁區附近ニ寄港セシムルコトニ關スル件
- 十五、義勇隊豫定航路ヲ航海期間内ニ變更セシムル件
- 十六、獎勵金ヲ漁業者ニ付スル件
- 十七、今回ノ會議ニ於テ義勇隊ハ最モ多ク攻撃ノ矢ヲ向ケラルヘク次ニ「トロール」船(領海十二哩以外ニ於ケル漁獲物ヲ河川漁區ニ限リ製造許可スルコトハ日本人ノ雜魚肥料製造ヲ不可能ナラシムルニ



屬書類添附

09174

大正元年七月廿八日 露領水産組合
大正元年七月廿七日 露領水産組合
卷第三八二號

第一課

露領水産組合

副組長 高井義喜 久

外務省通商局

市中

採送寒冷之候愈々御清適之段奉契候儀而今回當
組合ニ於テ治黒龍總督官報露國新聞中ヨリ
我等出漢者ノ爲ニ注意スルニ必要記事適時譯載
御参考ニ供セシメ爲ニ露水産報ト題スル摺物ヲ
發行致シ事ト相成今回別冊ト通リ第壹号及中送附候
奈布高覽被下度候 敬具

野村

通牒並照會等ヲ掲載シ露國官廳ト本組合ノ
野村 關係ヲ知ラシムル事ニ致候間本組合ニ掲載スルキ
事項有之候ハ御報導被下度候

大正元年七月廿七日

大正元年十一月廿六日

露水彙報

第壹號

露領水産組合

3-1810

0234

② 黒龍江魚類の大敵

(ハリヨウカド、オクシナイ新説)

本年黒龍江の紅魚は大不漁で、三ノミナクシを始め其上流の漁業者は
残る魚を見つめて終魚に大失敗を招き倒産者の續出を演じた然し
只河口の漁業者七名は放題鮭をシブク揚げて他の失敗を知らぬ
類に利益を収めた。政府は是も雲煙看過せしめて適當の取締を講
じて貰ふ度い。此七名の漁業者は誰あろうハリヨウカド、オクシナイ、
アエルの、イタクシ、オゼル、パノレ、ナレオ岬、のブロンダ等、大漁場の持主である。
政府は許可すべからざる河口漁場を殆んど無代價に貸下り濫漁を許
した事落があるからには、今是を閉鎖する事は黒龍江魚類保護上最も必
要である。政府は吳等漁場主に交渉し市を租借羊限の有るものは相當
の立退料を支拂ひて買戻すか若くは前記サエドカを現在の三合一位
減少せしめ如何なる場合にも河の兩側よりサエドカを樹立せしめ河岸の

一方敷小川を、空に置き決して二個の濤を閉鎖せしめ魚類の
湖上を自由にシヨラエウエラシ市上流に於ける陸民及漁業者の失敗
を救済するは當然の義務である。現にハリヨウカド、オクシナイ、
アエルの、イタクシ、オゼル、パノレ、ナレオ岬、のブロンダ等、大漁場の持主である。
政府は許可すべからざる河口漁場を殆んど無代價に貸下り濫漁を許
した事落があるからには、今是を閉鎖する事は黒龍江魚類保護上最も必
要である。政府は吳等漁場主に交渉し市を租借羊限の有るものは相當
の立退料を支拂ひて買戻すか若くは前記サエドカを現在の三合一位
減少せしめ如何なる場合にも河の兩側よりサエドカを樹立せしめ河岸の

し得ぬ爲に歴死して齋齋す。目下の急務は現在の儘放任置し時は近き将来に於て黒龍江上流ハバウロスウ邊の紅魚が盡滅し終るべきを以て前記七ヶ所の漁場を改済に買収するか或は数を三倉に減らしセーカシカ又ハヤリヤーク式漁撈法を採りしかるか一漁區に什網一統に制限するか或は亦前記の漁場を閉鎖する代り二三ヶ所上流に漁場を許可すべしある。

⑤。パトロハウロスウ市公證役人 (カリフォルニア、クラリナ、工月十九日記事)

今田雄泰加州。パトロハウロスウ市公證役場設置せし同所公證役人トシテ元黒龍江州親官官アウタ、ホホーフ氏任命せし者。

⑥。露都ニ於テ地學加學術博覽會 (日記事)

露都(彼得堡)帝國地學協會ニ於テエス、ペーリヤブシシキ一探險隊地學加學術博覽會開催、計全目下其準備中、而シテ出品類別ハ人種學、動物學、植物學、地質學、氣象學ノ五類ニシテ其中最モ出品豊富ナル人種學ノ部類計ルニ因ニ材料ハ同探險隊ガ三箇年間地學加及アレウシヤン群島ニアリテ蒐集セルモノナリ。

⑦。露定期船時化ノ爲漁夫及貨物ノ積載 (十月十日、黒龍江新聞記事)

義勇艦隊汽船コレト号ハ先頃オホク海沿岸ニ於テ十六日間時化ニ會ヒ連中漁場八箇所ノ人員及貨物ノ積取ラカシテパトロハウロスウ港ニ帰航セリ。

露國の黒龍總督は海軍義勇艦隊營業長に對しては、積欠の利息及償還の収容を以て手錠を請ふべき委任せり。

◎露國筋子輸出業者の恐慌（日 上）

漁業者間の大恐慌を惹起せるこの露國の米國政府の輸入筋子に對する措置は、露國製造筋子中の防腐劑トシテ硼酸を使ふ點に同筋子に於て是れを認め、筋子に及ぼす影響は、輸入筋子に對し關稅トシテ從價稅、外に物逸内地通過稅を所課するにあり。是れ關稅の商工務省の「アネトラ」の商業會議所に向て露國製造筋子に何等防腐劑を使ふか、輸出税を裁減せしむ、防腐劑を施すか、等點を問ひ、認むべき回答を待てる。

露國の筋子の輸入を制限するに依る「アネトラ」の米國政府の對する態度は、左地、外國輸出總額の三分一に達せしむる。

米國政府の這回措置は筋子製造業者に受ける影響甚大ナルにあり。商業會議所委員會は露國政府に向て北米合衆國及物逸に本問題に關し輸出筋子の必要量を最少量に削減し、使用許可、協商の樣請願スル決議せり。尚委員會は米國政府の新聞稅、米國市場に於ける露國産品の價格の騰貴、是れ露國の外國貿易品中の重要なる筋子輸出高に何等影響及ぼすか、及び「アネトラ」の認むべき。

◎滿洲新德米に於る露國漁業者會議に於ける會議事項
（七月八日、會場カヤオクニヤ新館）

- 一 昨年ノ會議ニ於テ決議進行ニ関スル件
- 二 義勇艦隊航路ニ関スル件
- 三 義勇艦隊事業改善ト同事業ニ關係スル沿岸貿易ニ関スル件
- 四 堪察加地方住民ノ使用漁場共同住民ノ漁撈法選定ニ関スル件
- 五 魚類ニ對シテ税率並運賃率ニ関スル件
- 六 漁夫雇入契約ニ関スル件
- 七 堪察加地方土人ノ鮮魚若シテ製魚ヲ購買スル日本漁業者ノ權利ニ関スル件
- 八 漁業組合設置ニ関スル件
- 九 船積證書ヲ以テ魚類原產地證明書ニ代用スル件
- 十 領海ニ在リ以テ於ケルトロール漁業總計標記ニ関スル件
- 十一 領海外ニ於テトロール船ノ漁獲セル魚類ノ製造ヲ河川漁區ニ限リ許可スル件
- 十二 國立銀行ヨリ漁業資本信用或附ニ関スル件
- 十三 義勇艦隊ノ政府ノ補助ヲ受ケツルニ以テククリミヤ産食塩運送ノ義務ヲ負ヒタル件
- 十四 義勇艦隊ヲシテ日本人經營海面漁區附近ニ寄港セシメサルニ関スル件
- 十五 義勇艦隊豫定航路ヲ航海期間中ニ狎リ變更セシムル件

(4)

十六、獎勵金^{ステイジヤ}ノ漁業者ニ下附セ件

今面會議ニ於テモ義勇艦隊^{銀海}最モ多ク攻撃ノ矢ヲ向ケルガ
次ニトロール船^{十三}以外^{於此}ノ漁獲物ヲ河川漁區ニ限リ製造
許可セラント日本人^{雜魚}製造ヲ不可能ナラシム^{於此}有カサリ
(同 上)

本年^{於此}浦潮斯德ノ漁業者會議ハ豫定ノ如ク十月七日
(露)黑龍江總督エヌモフンダヤケヲ議長トシ商業會議所^{午後七時}内
於テ開會セリ其列席者左ノ如シ

軍務知事 マナーキン少將、堪察加副知事 フォン、ボロゲン、
義勇艦隊極東營業長 クラフト、移民長官 タチシチヤオース、
税関長 四等管ラトキン、國立銀行支店長 ベリヤーエフ、
右黒龍國駐廳長官 デルレ、同副長官 ヱーネン、

漁業監督官 ナシコ、同監視官 プレコウス、
同コルボフ及漁業者數十名其他公衆多數

開會劈頭コシガキ總督ノ開會辭旨ヲ述ベ次ク各種問題
調査委員選定等ヲ移シ其委員次ノ如シ

一 漁業組合規定起草委員

トルマチヤオース、ミロノフ、シチーキン、メナルド、ジミ、レンカ、
フリプロコ、カクローフ、イルシエンコ。以上八名

一 沿岸貿易調査委員

メルクローフ、シエウリョーフ、ボイツ、シチルビ、ニシ、リブリム、
ピロゴーフ、ウフーソフ、ソコタレフ、テシビー、シチヤキン

ポトグルスキー以上十三名

一漁夫雇入模範契約設定委員

エケルマン、バンブーウイッチ、ジストレン、クリネマン、レヤホケニコフ

コルマフ、キリネキン以上七名

一運賃率及税率調査委員

クリウエンコ、ミローフ、ニコロフ、コズロフ、ソロウエイ、フゾコ

ツリゴフ、ナツワロフ、バンブーウイッチ、メナルド、ゲルマン以上十名

一義勇艦隊汽船航海調査委員

ミローフ、キリネキン、エケルマン、メナルド、フリク、シヤホケニコフ

ナツワロフ、ゲルマン以上八名

一信用貸付及補助金調査委員

フツワロフ、クリウエンコ、ミローフ、スツネカスキー、エケルマン

ナツワロフ、ペテレーツトルマチニコフ以上八名

十時閉會、次會、明午午後七時閉會、各擔當問題ヲ

次會迄調査會議附録第ナ

◎ 漁撈上、新制限ニ就テ (カキョーカヤ、オクシナイナ) 所載

漁場ニ於ケル漁獲高ニ、或ハ制限ヲ加ル、必要上露國

現行漁業規則ニ多少改正ヲ見ルヘシ

農務省ハ個人ニ貸下クキ官有海面漁區ニ於ケル漁獲高

制限ニ關スル問題ヲ調査シカニ爲 特別委員會ヲ開キタリ

(6)

從來ノ規則ハ漁獲高ニ何等制限ナカリシ爲最近ノ統計ニ就テ見ルニ魚類ノ減少著シク漁族保護上由々敷大事ナルヲ以テ今固ノ制限ヲ必要ナリト認ムニ至レルナリ、新制限トシテハ漁區毎下ノ際各漁區ニ漁獲制限ノ特別條件ヲ附スナリ而シテ各漁區ニ對テ漁獲高ノ制限、實際ニ於テ困難ナルニ現ニ黑龍江ニ於テ然リ、漁區、良否ノミナズ經營者ノ漁具、漁撈法其他ノ關係ヲ多キヲ以テ實施シ得ルヤ否ク問題ナリ。

○ 漁撈上ノ制限ヲ加フルハ不可能ナリ(同上)

數日前ノ本紙(カリヨウカヤオウライナ)ニ「漁撈上ノ新制限」ト題シ農務省ガ漁區ニ於ケル漁獲高ニ●新制限ヲ加フル方針ヲ既ニ調

(7)

査委員ニテ任命セリト記事ヲ掲載セリ此報道ノ信ナルニ足ルヤ否クハ別問題トシテ果シテ實施セラルモトモ此制限ナルモノハ漁業ノ根本的性質ト相容レザル所ナリ而シテ今現時ノアライノ事業ヲ見ルニ總テ自由競争ノ進歩ヲ尅達スルモノハ今固ノ制限ヲ加ヘトスル誤ニシモ甚ト謂ハザルハカラズ。

元年漁業ニモ他ノ製造業、林業又ハ鑛業ト異ナリ將來向テ何等確定的豫算ヲ立ツルト不可能ナルト冒険的ノ事業(一六時頁)ナリ、漁業者中ニ數年ニ亘ル不漁ノ失敗ヲモ一漁期間、大漁ニ望ム屬シ之ニ依テ數年間ノ損失ヲ償ヒト欲ス者多シ此漁業ノ根本的性質ニ相反シテモ漁獲高ヲ制限シテ必要何處ニアヤク、

魚族保護上他適當ノ方法無キ非テハ河川ニ露里ノ漁区
 開放禁止建網間隔ニ露里以内ノ接近禁止トシ漁業沿岸
 侵入禁止其他幾多ノ方法アルニテカ
 今回制限ハ十七世紀ノ野蠻思想ニ胎セルモノニテ二十世紀
 時ハ魚族保護法トシテ餘リ旧式ニテ一顧ノ價値ナド思惟ス
 如斯制限ヲ加ルニ於テ漁業ノ衰退ヲ来シ遊ハ全飛ノ止ムキニ
 是金華ノ今回ノ漁獲高制限ヲ絶對ニ反對ス所以ナリ
 當業者以テ如何トナス

東京府佐久間川沿岸三帶地
 露領水産組合
 電話新橋二七五八番

大正元年十一月廿一日 第貳一號

露 水 露 報

露領水産組合

大正元年十二月三日



露領水産組合
東京芝罘橋本町四丁目番地
電話三三三八番

3-1810

0243

(一) 善カヤ、イライナ所哉

浦潮斯德ニ於テ露國漁業者會議ニ豫定セリ十月七日(露國)開會

本官本年巡迴シタル各地漁場ニ於テ多數漁業者ト會見シテ機會ヲ得クルガ其際孰トモ至深業者會合ニ上解決スベキ漁業問題多クアルベシト開キタル以テ本官、時期ヲ定メ同會合ニテ其意見ヲ曉クベシト云ハル所ナリ、本官、屬僚ト共ニ此會議ニ出席セハ本官、最モ欣ビタル所ナリ、本官、屬僚ト共ニ此會議ニ出席セハ本官、機ノ希望ヲ容レシムニ微意ニ外ラズ尤モ諸君、意見ニ對シテハ本官等一同異口同音ニ贊成シ得ル哉、約シ難キモ少クモ相當ノ熱心ヲ以テ傾聴セント欲スモ也

本會ノ會議事項、關係諸君、依テ業出セラレシラシム問題、單ニ是ニテ盡セリハ思ハク、新問題、發生スル毎ニ之ヲ調査シ會議、附必要アリ、隨テ會議日程、亦三三〇日限ル能ハカレシ、若シ又本會議、ニコラエウスク、漁業者等ノ列席アラリ、彼等モ亦自己關係問題ヲ提出スベシト信ス、且又御承知、如ク漁業者相互ノ利益、一致ヲ見ルル甚ク困難ナク、宜口ト申庸、採可成妥協互讓、精神ヲ以テ問題ヲ圓滿解決セシメ、本官、諸君、囑望スル所ナリ

諸君、此機會、利用シテ、華國、總合團體、各種問題ヲ討議決定スル目的ヲ以テ、常設機關ヲ設キテ、本官、所管州内、金鑛、業者及林業者、此莫ク於、比較的統一シ居ル、如ク、同業者、關スル犯則、又不正事項、其程度、該官、報告ニ未リ、以テ、自然官廳ト、當業者、間、意思、融通シ、居、モ、此、此、記、終、臨、一、言、シ、キ、他、本、官、近、彼、得、堡、向、出、發、ス、以、テ、漁、業、者、諸、君、意見、ヲ、曉、シ、並、ニ、彼、地、ニ、於、テ、諸、君、希望、貫、徹、ニ、出、來、得、文、ヲ、援助、ス、ル、考、ナ、リ、云、々

終、總、督、國、財、廳、代、表、者、對、昨、年、漁、業、者、會、議、於、テ、決、議、實、行、如何、シ、リ、是、對、漁、業、監、督、官、手、ハ、シ、コ、氏、昨、年、度、會、議、諸、請、願、事項、既、ニ、許、可、セ、シ、ト、許、可、途、中、アル、種、種、答、文、昨、年、會、議、於、テ、ル、義、勇、艦、隊、汽、船、航、路、未、ニ、專、業、者、機、立、ス、主、ト、シ、編、製、シ、外、而、大臣、會議、漁、業、者、會、議、ノ、希望、可、カ、漁、業、用、品、稅、關、所、在、地、寄、港、必、要、ナ、ク、無、稅、ヲ、外、國、ヨ、リ、漁、場、直、航、ス、ル、許、可、ヲ、與、ル、也、總、督、ハ

露明漁業者限、澳地電話及郵便軌道施設、許可セラルト後
 告進ヲ漁業者會議、開カ規程、監督官廳、立法部、通附、その他、請願事項、例ハ諸稅及運賃、但減價、開カ件、並ニ銀行、業資本、風附、件及鉄道賃、金引下、等、如、復雜、案件、三、短時、日間、審議、又許可、運、至、セ、答、ハ、水、總督、各地、代表、者、中、各、種、委員、選舉、ヲ、命、テ、夫、詢、查、問題、ヲ、介、摺、セ、シ、タ、ル、也、總督、會議、事項、ハ、明、讀、シ、右、事項、中、労働者、雇、入、模範、契約、事項、開カ、歐、露、於、現、行、村、落、經濟、労働者、規則、效力、秘、東、及、オ、シ、テ、希望、下、立法部、請願、カ、夫、足、シ、述、後、三、十分、間、休、憩、ヲ、宣告、此、休、憩、時間、内、豫、選、四、委員、外、組合、規、程、起草、委員、及、労働者、雇、入、模範、契約、起草、委員、二、種、委員、ヲ、選舉、シ、タ、ル、也、總督、會議、事項、ハ、左、諸、項、ニ、加、テ、

一 海豚(魚、魚、魚)及海豹(魚、魚、魚)ノ保護、開カ件

二 黒龍江(河、河、河)ノガニ、エ、トリ、ノ(魚、魚、魚)ノ開カ件

三 河口(河、河、河)ノ水道、開カ件

四 漁業者對ハ、ハ、ロ、ラ、多、勤、業、博覽會、開カ件

總督、來、年度、勤、業、博覽會、ヲ、利用、シ、テ、漁業、地方、産業、上、ハ、有益、ニ、事業、ナ、ル、一、般、之、周、知、セ、シ、メ、シ、テ、希、望、セ、タ、ル、也、漁業者、某、々、等、ハ、私、費、ヲ、以、テ、河川、修、築、ヲ、行、ハ、シ、總督、本、官、此、種、公共、事業、ヲ、歡迎、セ、シ、テ、直、ニ、其、許可、ヲ、與、ヘ、ト、指令、シ、タ、ル、也、州、廳、事務、官、ス、ハ、ソ、ノ、氏、ハ、労働者、雇、入、模範、契約、ニ、雇、主、及、被、雇、人、相互、權利、義務、ヲ、明、カ、定、ム、必要、ナ、ル、如何、ト、シ、被、雇、人、ニ、其、雇、主、ヨリ、給、金、支、給、シ、ラ、レ、ト、テ、往、官、廳、ノ、手、數、ヲ、煩、ハ、ス、ト、テ、ハ、ナ、リ、述、ハ、シ、タ、ル、也、シ、ミ、ト、レ、ン、コ、氏、代、表、者、ト、シ、テ、漁業者、團、ハ、問題、ヲ、提出、シ、テ、曰、ハ、ク、日本人、地方、人、ノ、魚、類、捕、入、之、權利、ヲ、有、ス、露、國、漁業者、亦、其、製造、權利、對、一、年度、(買、取、權) 五、等、課、稅、ノ、負擔、ヲ、日本、人、是、ト、免除、セ、ラ、レ、ル、如何、

總督、將來日本鹽製造場、増設を至、此問題、層重大トシ、
 又「日本人ノ競争」彼等ノ現今、如ク自前、製造シ、
 者、卓越シ居、特矣、彼等ノ協同一致精神、富、信用資金、
 一潤澤ナル云々
 此漁業者某等各自作製、報告書ヲ夫々委員ニ交付セリ、堪察加紀事
 本會議ニ義勇艦隊航路豫定表ヲ提出ス、
 各種問題ニ就、少シク述ビ

⊕ 食塩問題

從來露國漁業者、多ク獨逸塩及英國塩ヲ使用シ、露國外圍塩、露國
 塩優ル、何レノ莫クヤ、疑ハレ、其使用セ、露國塩、地方市場、皆無
 ナルガ爲、然ル露國塩、品質佳良ニシテ、塩分強度、且、塩魚ニ使用スルモ
 魚ノ風味、損セ、且、其外圍塩、優ル、下等、而シテ、三三エウノ
 澳期間ニ於テ、外國塩ノ價格ヲ見、三三エウノ、一留五十哥、ヨリ
 一留五十哥、唱、ワ、稀、ナ、ニ、地方市場、貯藏、食、塩、教、常、化、セ、
 セル、基、因、ス、ト、而、カ、ス、事、情、漁業者、最モ苦痛、上、所、ニ、食
 塩購入、不使、甚、ト、謂、ス、本年、三三エウ、ノ、方面、紅魚、中、以下、澳獲
 ナル、不、拘、早、ニ、地方、食、塩、故、也、告、告、高、價、食、塩、ヲ、日本、人、ノ、讓、受
 カ、ル、者、或、鮮、魚、ヲ、日本、人、賣、渡、ス、餘、講、ナ、キ、ニ、至、ル、者、モ、リ、ト、云、フ、
 依、ラ、今、回、漁業者、會、合、機、上、優、良、自、國、食、塩、共同、購入、方法、ヲ、講
 ス、リ、ト、刻、下、ノ、急、務、ト、認、ム、

⊕ 労働者雇入契約問題

- 一、村落労働者雇入規則ヲ参考シテ、漁業用労働者雇入特別規則案
ヲ、編、集、ス、ル、件
- 二、右規則案、ヲ、編、集、ス、ル、件、漁業者會議ニ於テ、作成、此、契約書案、ヲ、編、集、ス、ル、件
千九百十一年一月
- 三、前記規則案、ヲ、編、集、ス、ル、件、模範的契約書案、ヲ、編、集、ス、ル、件

労働者に対する賃金支拂、保護、與之件、適宜ノ方法見當ラレルニ依リ
決定セラルス

⊕ 沿岸航海問題

青丘會議ニ於テ政府ニ請願セ、必要ノ事項列ス

- 一 沿岸航海用船舶製造資金下附件 右浦潮斯德商港務局、認定ニ依リ、國立銀行ヨリ支付ス
- 二 露國保險會社船舶保費料減額ニ関スル件 及造船資金下附上外國保險會社、保費料減額ニ差支スル件
- 三 沿岸航海用小型船舶相互保險法制定ニ関スル件 及同保險會社、基金金トシテ格万留團庫ヨリ補助スル件
- 四 沿岸航海用小型船舶發動機、裝置ニ付船舶ニ對シテ船價ノ七割五分額、造船資金ニ付、件
- 五 沿岸航海用小型船舶ニ乗組員トシテ支那人使用禁止件
- 六 海事協會、選定ニ委員、沿岸航海用小型船舶乗組員監督、任ニ當ラセラル件
- 七 小型船舶運用品養成ニ爲下級航海學校、設置スル件
- 八 浦潮斯德港、私有船舶用船渠、急速建造スル件
(現今自國船渠、有セ、露國船舶修理外國船渠、有様)
- 九 千九百十三年月ヨリ沿海州ニ内國造船奨勵法、效力及セ、件
- 十 浦潮斯德港内私有船舶點留場擴張、件
- 十一 浦潮斯德港、電信電話ヲ布設、連絡ヲ取ル件
- 十二 燈臺、及目標(浮標、立標)増設、件
- 十三 新測量ニ依リ海圖、急速發布、件
- 十四 従来船舶課ニ發給シ来、夜間通航券、一定時間ノ限、ニ盡夜間航海用、ヲ發給セラル件

五、從來夜間(翌朝)作業、對(稅關)徵收材料、全廢件
 六、獎勵金下付問題、解決及是、請願、新組織、等々
 漁業組合及海事協會、一任、等々、國、件

④ 運賃問題

- 一、ケイセイ、汽船、特別運賃、澳場、澳夫、運送、セ、件
- 二、靱靴(間宮)海峽線、ケイセイ、汽船、運賃、等、件
- 三、彼得大帝、海線、運賃、魚類、布、等、七、哥、食、鹽、布、度、等、件

漁業者會議第二日(十日)

議長、龍龍、總督、ゴ、登壇、問、答、等、事、速、ハ、曰、ク、
 前日、會議、於、中、重要、七、問題、調査、為、六、種、委員、選、出、シ、
 各、委員、是、が、調査、了、了、シ、本、日、會議、に、附、ス、ル、本、官、意見、
 等、ハ、既、三、會、議、順、序、に、列、正、シ、諸、君、於、各、問題、採、決、ス、運、
 賃、が、其、最終、決議、見、出、ス、尚、餘、時間、再、本、官、他、多、多、要、務、
 有、ル、ニ、ナ、リ、明日、ハ、ゴ、リス、ク、ウ、ス、リ、本、日、開、會、ハ、村、落、經、済、會、列、席、
 豫、定、モ、レ、バ、議長、ト、シ、本、席、長、止、シ、得、且、之、露、骨、ニ、言、フ、本、官、が、
 議長、ト、シ、此、席、ニ、ア、リ、テ、却、テ、十分、意見、吐、露、ス、ル、遠、慮、セ、ル、向、マ、ラ、
 諸、君、中、リ、適當、議長、選、出、シ、テ、決、議、上、に、發言、權、ハ、論、漁、業、者、
 諸、君、ニ、ア、リ、テ、此、外、列、席、各、官、廳、代表、者、ハ、必要、場、合、出、テ、説明、ヲ、
 行、フ、ル、ニ、止、ル、モ、ナ、リ、依、テ、休憩、時間、以、テ、他、議長、選、出、セ、ル、ト、述、ベ、ク、
 次、總、督、發、議、ニ、リ、委員、報告、移、
 東、境、察、官、區、漁、業、監、視、官、アル、ケ、レ、エ、キ、一、委員、長、下、請、查、セ、稅、率、並、運、
 賃、納、金、報告、漁、業、者、ソ、ロ、ウ、一、朗、讀、ス、要、領、左、如、シ、
 一、制、不、法、何、ハ、問、ハ、姓、及、紅、魚、類、一、切、輸、送、一、車、積、載、量、九、百、布、度、
 以上、定、第、三、十、二、号、運、賃、率、依、テ、行、フ、

一 塩類 塩類 塩類 下層労働者 食用 上層労働者 食用
二 車積 積載 九百 積載 九百 積載 九百 積載 九百
三 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類

一 車積 積載 九百 積載 九百 積載 九百 積載 九百
二 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類
三 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類
四 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類
五 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類
六 其他 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類 魚類

④ 信用貸付問題

- 一 沿海州 地際州 薩摩州 津島 對 國立銀行法第八十九條
第二項 信用貸付規定 最大限度適用 要件
- 二 魚類 及 魚子 擔保 地方市價 五割迄 信用貸付 要件
三 冷蔵 貨車 普通 貨車 月十廿二日迄 期間 限
- 三 冷蔵 船 海上 歐露 及 外國 輸送 魚類 并 亦 信用 貸付 要件
- 四 冬季 在庫 中 魚類 對 亦 市價 五割 額 貸付 要件
- 五 發動 機 附 帆 船 及 同 小 舟 所有 漁業者 對 其 船價 七割 五分 額 貸付 要件
- 六 樞 東 漁業 發達 現下 急務 地方 漁業 資本 充て 以テ 政府 三百 萬 元 漁業 補助 金 黑龍 集 港 備 官 官 任

是ノ澳業組合特別委員及國財廳會計課長局國立銀行及
浦潮新徳商業取引所等名代表者前ノ決定ニ澳業者感附ル件
津場財産評價規定制定國立銀行代表者、此等與ヒテ又該
評價國財廳ニ行ハレ

感附擔保物件、津場建築物一切例ニ住宅倉庫機械林橋等ニシテ
充テシ而シ租借権他人移動市場會一切感附契約上、兼テ兼テ
モ同時ニ新租借者ニ移シ、且、此際國保險會社が保險契約ヲ拒絶
市場會外國保險會社ト契約締結セシテ是又イコトニ定メテ
休憩時間於テ議長ヲ選舉セシ結果正議長トシ、池澤幸國財廳
長官ベイトレル氏又副議長トシ、岡田長官ケイネン氏當選セリ
總括コシテ、諸場、若、臨ニテ、言フ、爲ス

諸君、本官、今、此、席、ヲ、去、臨、ニ、重、ク、言、フ、本、會、議、諸、請、願、
ニ、對、シ、本、官、大、ク、熱、心、ヲ、以、テ、助、力、ス、ル、且、本、官、權、限、ニ、於、テ、ハ、論、
權、外、モ、上、述、本、官、出、來、得、ズ、キ、事、無、カ、ス、若、又、本、會、議、決、議、
不、同、意、セ、ル、諸、君、別、ニ、自、己、ノ、意、見、ヲ、本、官、ニ、告、ス、ラ、レ、シ、コ、ト、ハ、モ、
然、臨、ニ、テ、諸、君、發、言、力、カ、ニ、依、リ、製、品、ノ、歐、洲、市、場、ニ、送、リ、以、テ、
日、中、現、在、之、需、權、ヲ、保、守、シ、握、ラ、シ、コ、ト、ノ、期、望、ス、云、々

澳業者アイトルマナコトノ一頁ヲ代表シ總督、名譽議長トシ、本會日ニ
参列セシタル光榮ヲ、謝シ併シ、本會、名、ヲ、以、テ、皇、帝、陛、下、ニ、本、會、考、列、者、
一、同、忠、誠、ヲ、執、情、ヲ、傳、差、セ、ラ、レ、シ、コ、ト、ヲ、モ、テ、

總督及軍務知事モナキ、少將退席後、信用附及下附金問題ヲ、議ス
澳業組合組織ニ滿場致賛成ヲ表シ、支部、貸、物、集、散、地、シ、ル
西比利亞及歐州各地ニ設置スベク決議ス
本日會議、出席者多數ヲ閉會、告、シ、夜、三、時、閉、會、シ、(未完)

及カ中ノ積金然政路行目ノ貸率ノ適用セシ且是迄汽車
 汽船聯絡輸送ノ特典ヲ蒙リ、鮭船以外ニ海藏魚ノ対シテモ此ノ力直
 通運賃ノ定メ同時ニ鮭船ノ製氷及吐卸積金同魚卵及種詰ト
 均等ノ特別取扱ヲ受ケルニ付、例ハ是迄亞細利行開港及リロカ
 濱ノ運賃當地ノ汽船汽車聯絡運賃ノ多少ノ間(滿洲里經由)ノ付
 車扱ニ付一アドレシ付(留三十三号ニ付)ノ付(七十九号六〇トカクシハ
 即チ三割五分弱ノ低減ヲ尚政府補助ノ愛ケルニ付、東江汽船貿易
 會社ノ露附七百十号ノ自子音ノ間限、ニシテ多少ク、ハロラズク、ニシテ
 烏蘇里鉄道ノ聯絡輸送セシ、對鮭船ニ對シテハ特別一アドレシ付十号
 ノ割引(普通運賃一アドレシ付十号)ノ付(留三十三号)ノ付(七十九号六〇トカクシハ)ノ付
 在鮭船製氷船前記汽船汽車聯絡特別運賃ノ尚十号低
 減セリ、又存ナシ。

3-1810

0252

第10903號

大正元年五月十九日接獲

商第一課

大正元年十二月十八日 (露曆十二月五日)

露水彙報

第四號

露領水産組合



3-1810

0253

露水彙報 第四號 大正元年十月六日 露領水産組合

○沿海州のトロール漁業

(ダリョウカヤ、オクライナナ所載) (ウネレバノフスキ氏意見)

昨年の浦潮漁業者會議に於て沿海州沿岸のトロール漁業は有害なるを以て禁止すべしとか或は許可差支なきとか一問題となり種々の意見を出でたがトロール漁業は有害なりとの意見勢力を占め國財廳も亦此意見を可とし遂に極東海面にはトロール漁業の禁止を見るに至りたるは尚耳新しき事實なり。此の禁止の効力は領海十二哩以内は傳まり十二哩以外所謂公海に於て何れの國民が來りて該業を営むも任意たゞし而してトロール漁業が果して有害なるか或は是に及らぬ國民經濟上利益なるかは茲に論ぜず唯最近得たる沿海州領海外のトロール漁業に關して一言せんことを欲するものなり。此報道に依れば外國資本集團(英、諾威、ノルウェー)は極東オホトクモ地帯に

南は朝鮮沿岸より北は極北に至る海面に於ける豊饒なる魚族に注目し是れ大規模のトロール漁業を以て漁獲せんとす計畫なりと而して是れが實現を見ること無しと断言し得ざるべし又是れが實現後に及んで露國漁業者が同業根柢之を廢止せしめよと絶叫するも何の反響だに有らざし蓋し十二哩沖は吾領海に非らざればあり。此計畫に依れば漁獲物は英の北海、諾威及び白海等に於て爲すが如く魚の種類に依り或は罐詰に、肥料に魚油に製造すと云ふ而して或は種の製造にトロール船上に於て爲すを得る極め不便なるを以て製造所を日本の千島列島中、最も堪察加に接近する場所を設置すと云ふ。果して此計畫が事實に行はざれば假定せよ、最も困難、不利、孤立の立場にあるは何等の團結一致及信用資金なき吾露國漁業者なりとす。今や此大敵に對する覺悟なきものなりざるは予の言を俟たず、尚予の意見を以て吾露國漁業者殊に此方面の河川、澳區を經營する者は此の絶好の機會を逸するべく露國沿岸に根據を必要とする國際的トロール漁業を利用し其製造場を吾オホトク

堪察加沿岸に設置せしむるの與手に出でんこと緊要なりと思惟す
此目的を貫徹せしむるにトール船の領海を三哩以外に於て漁獲せる魚類の
製造を露國人の河川漁區に特許することしを今も國財廳に向て運動
すし國財廳も亦國家的利益を主眼とす此の請願を容れざる可きなく又此の
許可を露國人に限り許す事の上於て何等日本に遠慮の必要なし蓋し
日露漁業協約露國領海内の漁業権を日本に附與せしむるのみにし領海外
漁獲物製造を許す限りに非ざればなり、(了)

○露國人の食糧に供する魚類の製造を支那に禁止する件

南滿新遼近海の漁業者團及同市商人は黑龍總領に對し支那人の製魚及
販賣を禁止せしむるべきを陳情す此の陳情の理由は浦潮方面の小資本

漁業者及製魚販賣業者が從來市場に於て要らざる魚
類を供給し未だか近來華國なる團結を爲す支那人の商敵に對抗するの最
困難なること及彼等の非衛生的製造及不正販賣に基きしものなり

支那人の營業振を見よ一般漁業者の浦潮に帰着するや先づ漁夫給料の支拂
其他清算に勘及り現金を要すを以て自己の製成品を賣急ぐ傾き此の機
會に衆も支那人は早く團結し手買占を行ひ是れ一時に市場に出すことなく
市場に於て製品の欠乏時期を待て非常な高價を賣り高價に賣出する
常用手段とす浦潮近海の鮫に就て一例を示せば露曆三四月の候此方面に
於て漁獲する鮫の數量は千餘萬尾乃至千五百萬尾に達す而し鮫は千尾
の量目は十三兩度乃至六兩度あり支那人は他に競争者無き
を以て普通は千尾に付五六兩の時も、或る五拾兩の廉價を以て買占む即ち
一兩度に付僅かに貳拾兩乃至叁拾兩の割合なる若し鮫は千尾の生鮫
の價格頗る下落し鮫を賣る者に至る爲めに漁業者は不利益を蒙る日本

田地も肥朕（肥料）を製造する有様あり是れ畢竟支那人の團
結的價格（價格）低落を生ず露國の富減殺を一方市場に於て販賣せらるゝ
支那合製造（製造）に傾けし塩藏練成（練成）尾五哥乃至十哥を唱へりあり
需要者も露國人に甘んじ支那人に暴利を負はれりあり

也斯實欲能（能）支那人の製造現状を見るに其非衛生不潔極まること言語に
絶たず彼等は何等掃蕪なき露天にて雨天には製品に泥土の飛び込むを意
とせ致晴天には黄塵を浴して製造するは未だも使用する容器は石油古箱
或はオレフ油重油（油）其他有害塗料の入り古函を使用して其價格の廉（廉）に
容器の何たるを顧みざり於ては中毒又は悪疫傳染（傳染）の媒（媒）となすや言を
堪へず也斯支那人の製魚を取締る無きは實に寒心に堪へざるなり然れ
ども居所不定なる支那人を取締るは至難なり其の宜しく絶對に禁止するも
策の得たるものとす

(3)

當局は支那の製菓を禁業すると同時に露國人に特許を與へ尚進合相當補
助を爲し塩藏練成（練成）倒席に製造せしめんが黒龍鐵道工夫の食料を始めと地方
下層民等労働者の食料に適し而して改良を爲せばザハハル西比利亞及
歐露市場に販路を得るは容易なり現今露土に於けるアストラン（アストラン）練成産額減
少の結果價格頗る騰貴したり之が最近二十五年間の對比を見れば最初
老牛尾に付八留乃至十留のもの現今は七十留乃至九十留を唱へりあり以て
塩藏練製造の有望なること推して知るべし
因に黒龍鐵道は有陳情事項を露曆五月の浦潮に開催せしむべき彼得大帝
溥漢業者會議に付議せしむる筈あり

○沿海州に於ける紅魚以外の水産物

千九百九年（明治四十二年）度支那人に依りて沿海州（重）浦潮斯德近海）

より輸出せしむる昆布は六百萬布度價格約三百萬留及海參は四百萬露布價格二百五十萬留乃至三百萬留あり而して其後浦潮近海の水産業は黄色人種の伏用禁止以來是が輸出を見せし右の外沿海州には外國輸出向水産物として鱈魚、蟹、蝦等饒産す記しとて露國水産業者の注意を喚起す。

○ 漁業監督官チンゴ氏の任命

今回漁業監督官チンゴ氏は農務省水産技師長に任命せられたるが従前の通り國財廳に在勤ありし。

○ 困難なる堪察加及樺太冬期航海

先頃カムチヤカペトバツロスタクに同ヶ浦潮を出帆し義勇艦隊汽船メタソロポリ号は途中流氷に出會し一時間半遅の速力を以て徐行し非常なる困難を嘗て辛うじて同港に入港するを得たるが同船は或はカサカカ冬龍をなやませ計らぬと云ふ又樺太終航海としてアレクサドリスク港に向いたるキレホフ号も亦非常なる流氷の爲貨物陸揚に困難し小蒸汽船は解凍復したるも辛うじて港に陸揚し残り三萬貳千布度は浦潮に積戻り積戻りたる貨物は總督の希望を容れず年度紙詰如き無料と義勇艦隊倉庫に保管することとなりたる。

大正元年十二月廿五日接受

第一課

11845

大正元年十二月二十五日(露曆十一月十日)

露水彙報 第五號

露領水産組合

大正元年十二月廿七日記録二接受



3-1810

0258

露水彙報

第五號

大正元年十月二十五日露領水産組合

○オホトスク海ニ於ケル貯炭所及避難港ノ必要

今夏北部堪察加航海ヲ遂ゲタル義勇艦隊汽船「ワルク」號ハ其歸航ノ餘ニ遅延セシ爲メ途中石炭ノ欠乏ヲ来シ航海ヲ續クルト能ハザルニ非ラズ或ハ行衛不明トナリタルニ非ラズヤト當時杞憂ヲ抱ケセシメタルガ事實ハ同船ノ機関ニ故障ヲ生ジタルニ止マリ石炭ニ欠乏セザリテ豫定ヨリ甚シク遅クシタリト雖モ無事帰航セルガ實際ニ於テ此方面ニ遠航海ヲナス船舶ノ往々石炭ノ欠乏ハ珍シカラズ今假シ浦潮ヲ出テオホトスクノ堪察加方面ニ向フ船舶ノ採炭所ヲ求メトモ日本港灣ヲ除キテ僅カニ樺太「アレクサンドル」港(ツエ)及「ペトロバウロフ」港(ペトロバウロフ)ノ外ニ見出ス能ハザルニシテ此方面ノ航海ニ於テ船舶ニテ一朝石炭ノ欠乏ヲ来シカ殆ント

進退ノ自由ヲ失フニ至ルベシ千餘海里ヲ距ル日本ニ逆航シ採炭スルハ到底不可能ナルハ明カナリ故ニ浦潮ヲ出帆ニ際シ豫メ十分ノ石炭ヲ石炭艙ハカ論貨物艙ノ部ニモ満載シテ出帆スルヲ常トスル爲メ貨物積載量ヲ減ズルニ甚シク其不經濟モ亦大ナリ今オホトスク海ニ於ケル石炭原産地トシテペンシンスカヤ灣ノ口近クニ「ボドカゲル」ヤ「入江」(Stoknagelhas dychna)ナルヲ記憶ス是ハ千餘九十五年(明治二十八年)ヤネリセヨノフク所有汽船「ジナイダ」號ノ発見セルモノニシテ當時同船「ペンシンスカヤ」灣内ニテ毛皮ヲ積載シテ帰途船脚(ハニスト)ヲ得ニテ灣ノ寄港セシ此処ニ不計モ石炭ノ海岸ニ露出セルヲ発見セリ依テ同船員四人三日間ニテ「バラネ」トシテ石炭十五

噸餘ヲ得タルヲ以テ浦潮帰着後セテ海軍艦船ニ試用セシムル所
炭質良好トシテ確認セラレタリ尚此附近一圓及北ニ偏シテハロキ
ンスカヤ又太平洋ニ面スルハロキニルヲ灣ニ亦有名ナル石炭産地ナ
リトス

要ニ將來ニ於テハ此地方ヨリ石炭ノ盛ニ採掘セラルル疑ハズ極北
地帯ノ氣候ノ關係ノ勞力ノ欠乏其他幾多ノ障害及困難ナルコト
ヲ以テ近キ將來ニ於テ期待ヲ得ズ故ニ目前ニ不便及困難ヲ感シ
ツルニ貯炭所ノ具備ニ難澆ラハオホトスク海ノ適當ナル地莫ク
繁港スルハ緊要ナル計畫ト思惟ス。

○彼得大帝灣漁業者會議

露曆十月二十日浦潮斯德ニ於テ西南區漁業監督官官兵ノ
ツボフ氏議長トシテ彼得大帝灣漁業者會議ヲ開催セリ
本會ニ出席セル者ハ多年漁業ニ從事セル專門家ニテ今回
最初ノ會議セルヲ以テ先ツ漁業者相互ノ意見ヲ交換シ特設機
關ノ組織ヲ將來益々彼得大帝灣漁業ヲ發達セシムル爲メ
製造ノ改良ニ浦沙其他市場ニ於テ販路ノ擴張ニ努ムル等
ノ實際ノ必要問題ヲ討議セラレタリ主ル問題トシテ漁業ノ基
礎ヲ鞏固トシテ上ニ最モ大ナル關係ヲ有スル漁區ノ租借年限
延長ニ關スル件 從來ニテル大帝灣漁區或下ニ箇年ノ短期
ナルヲ以テ漁業者ハ將來ニ對シテ不安ノ念ニ驅ラレ漁區ニ永續
的設備ヲ爲サズ從テ製造モ完全タルヲ免カズ依テ今後長



期賦下トシ最少年限十二年トシテ政府ニ請願スルコト次ニ
 浦汐近海ニ於テ漁獲セル鰵ノ製造ハ多ク支那人ノ手ニ依テ行ヒ
 タルガ其製造方法ノ不完全拙劣器具ノ不潔ナル等ニ需者者見
 露國人ノ嫌厭ヲ招致シ從テ極東極南ノ價值ヲ没却シ引テ
 ハ歐露市場ニ歡迎セザレバ傾向アリ故ニ支那人ノ製賣ヲ絶對ニ
 禁止スルコト其他沿岸航海用ノ小型船舶ノ乘組員ハ露國人ニ限ル
 シト過般開港セル浦潮漁業者會議ニ於テ決議アリタルニ現今
 ノ状態ヲ見ルニ露國人ニシテ海上生活ニ熟練セル者極ク少キヲ以テ
 當分半數ノ(五〇%)外國人使用差支ナシト認ムルヲ以テ此ノ條セテ
 政府ニ請願スルコト彼得大帝灣漁業者ノ實利ヲ目的トシニコ
 ラエウヅクニ堪察加方面漁業者ト合同ニ就中浦汐市場ニ於ケル鮮
 魚ノ共同販賣ノ方法ヲ採ル等ノ決議ニ閉會セリ次會ハ十月
 二日豫定ナリ。

○ 彼得大帝灣ニ於ケル有利ナル水産業 (カキ、イカリ、オウライ、ササガ、
 一 海産物)

彼得大帝灣ハ海産物ノ產地トシテ知らレル。
 海産物ノ收穫ハ通常「ドラカ」(四爪錨蟬)ト稱ス一種、(或ハ網)
 使用ス。陸岸ニ接近スル場所ハ海底多ク平坦ナラサルヲ以テ沖合約四五丁
 乃至八九丁ニ出ワルヲ常トス。水深八丁乃至十二丁ノ所ニ至ル長索ヲ
 着ケ是ヲ海中ニ投下シ索ノ一端ヲ小舟ニ結着ケ風アル時ハ帆走シツ、
 或ハ曳ク行ヒ百間乃至百五十間ニ曳ク行ヒ是後網ヲ水面ニ

引揚グ以海龍。舟中收採。晴天海平之時。權ヲ以漕走シ
 底曳ヲ行ヘシ。底曳中。舟速力可成。漕走ナラシ。要ス。餘ニ志ス
 時。網底ニ接觸セ。海龍ノ表面ヲ滑走ス。是レハ
 此レハ。漢期。初。當テ。一日。收獲海龍。四布度(十寸四寸五分)。是レハ
 千上(乾重)。半。布度(二百五寸)。價格十六留アリ。漢期ハ春
 ニ始。露。曆。六月。ニ。收獲。半。減。シ。七月。至。海龍。多。砂。中。又。岩。陰。
 隱蔽。ス。以。テ。形。見。ス。其。他。海草。繁茂。ノ。爲。漢。種。不。便。ト。シ。九月
 ニ。至。テ。秋。漢。期。始。ス。秋。ニ。水。中。充。滿。樽。鬼。モ。無。故。顕。微。鏡。的
 有。生。物。體。悉。ク。死。滅。シ。海水。清。澄。ス。此。時。於。テ。可。成。深。処。於。テ。ハ
 海龍。ヲ。發。見。シ。得。ヘ。キ。以。テ。漢。又。テ。使用。シ。得。ヘ。シ。秋。期。海龍。漢。土。月
 頃。走。ス。寒。冷。時。海龍。百。隱。シ。形。ヲ。見。ス。

露國ニ於テ海龍ノ乾製所謂海參トシテ販路有。其製法種々
 アル。多ク。尤。方。法。ヲ。用。フ

先ツ海龍ノ臟物ヲ除去シ。丁寧ニ洗上ケテ。一時間乃至一時間半
 海水ヲ煮火沸シ。火力通シ。後々取テ。三四日間。塩漬トシ。取出シ。再
 僅カノ時間。漸ク煮沸ス。程度トシ。取上ケ。水ヲ充分滴下シ。後々炭粉
 中ニ轉ジ。晴天時。一日。光。乾燥。セ。ト。ス。(誤者曰。海龍製法。本邦ニ先有
 研究。出。米。居。ル。知。種。露。式。製。法。ヲ。知。要。ト。シ。レ。ハ。考。索。也。譯。載。ス)
 海龍ノ乾製。減量ハ。普通。八割。ト。ハ。布度。海龍。ヲ。乾製。シ。テ。海參
 一布度。ヲ。得。ル。割。合。ナリ。而。シ。海參。一布度(四百三寸)。價格。十六留。ト。ス。
 二。蝦
 蝦。好。シ。テ。樽。鬼。入。江。海草。繁茂。シ。海參。泥。砂。質。ニ。テ。平。垣。ニ

所上然也。蝦、斯、山、場、所、土、着、常、居、不、毛、六、非、之、其、散、卵、時、
 一、海、岸、海、草、密、生、之、所、群、来、不、毛、十、十、此、時、以、蝦、津、期、
 蝦、散、卵、一、年、春、秋、二、季、三、季、春、季、散、卵、露、曆、四、月、一、日、頃、始、
 最、初、小、群、来、十、六、小、形、卵、成、熟、セ、ル、モ、三、三、此、後、二、週、間、至、大、群、来、
 一、為、不、毛、大、形、肥、滿、セ、ル、十、十、此、時、蝦、津、最、盛、期、一、入、日、收、獲、
 三、布、度、達、一、平、均、一、日、一、布、度、得、ル、ト、云、フ、五、月、十、五、頃、至、蝦、散、卵、
 一、終、漸、次、數、量、減、少、ス、此、時、蝦、晚、換、期、一、體、瘦、衰、其、肉、
 水、分、多、皮、軟、弱、三、三、脅、敗、ヲ、招、キ、易、シ、夏、季、蝦、少、ク、
 澳、獲、志、第、二、期、散、卵、九、月、十、五、頃、始、一、群、来、ノ、状、况、春、上、同、心、
 散、卵、十、月、十、五、乃、至、十、日、頃、迄、上、而、一、春、秋、二、季、談、澳、從、予、元、
 者、八、五、百、金、ヲ、所、得、ト、云、フ

収獲法前記述(海草用ドラカ(底曳網)集り又手繰網ヲ
 使用、陸岸、餘、遠、隔、セ、ル、海、草、繁、茂、場、所、檢、査、澳、期、長、
 短、一、天、候、因、係、ノ、海、上、波、高、時、舟、動、揺、劇、ク、一、夜、中、不、便、ナ、
 早、朝、又、夜、間、風、間、以、テ、澳、入、強、風、時、蝦、澳、ナ、ク、風、止、後、三、日、
 一、海、靜、平、ト、ス、時、收、獲、好、時、機、ナ、ク、出、蝦、群、集、レ、場、所、一、
 一、同、一、海、深、海、底、及、海、草、繁、茂、模、樣、同、一、場、所、一、甲、場、所、
 多、ク、一、場、所、皆、無、ト、ス、一、或、一、第、一、回、底、曳、際、一、收、獲、多、ク、レ、場、
 所、第、二、回、亦、一、儼、然、一、尾、收、獲、ト、ス、一、是、一、及、一、最、初、投、網、皆、無、
 一、レ、場、所、一、一、第、二、回、投、網、一、儼、然、多、ク、收、獲、ト、ス、一、等、蝦、澳、業、者、
 特、ニ、注、意、ヲ、拂、フ、ベ、キ、ナ、リ、
 蝦、生、鮮、ト、ス、レ、バ、市、場、一、檢、査、價、格、一、者、大、蝦、生、鮮、ヨリ、二、割、五、分、安、

浦潮市中に生鮮魚類割烹店、船一航、火車上等、可成高價、本物賣行、其相場、一布、八留、乃至十留、三留、四留、五留、六留、七留、八留、九留、

○豊饒な堪察加紅魚 (カウチヤ、オウライナ所載)
古くは堪察加方面紅魚漁業、近年發達シ、未リテ現今於テ黒龍江、遼東、大敵ヲ以テ目セラル、至テ、試、兩方面漁業者、不平ヲ聞ク、
黒龍江漁業者、近年、著キ民族減少、數シ事ヲ濫漁、取、
師不行、局シ、波ラシ居ル、及テ堪察加漁業者、交通不便ナレバ、
航路増設、而シテ魚類運賃餘高ト鳴ラス、モ人トシテ魚類、
ハ、之ヲ云ケル者ナキハ事實ナリ。

六月廿五日、十月、至、堪察加沿岸ニ群来ス、紅魚ノ數量、想像モ許サル程、巨額ナリ、左、其種類及漁期ヲ示セシ。

- 一、カウチヤ (ますのすけ)
 - 二、クラーヌナヤ (紅鱈)
 - 三、ハイコウ (夏鱈)
 - 四、キレエチヤ (秋鱈)
 - 五、カライヤ (鱈)
 - 六、コリツア (あめ鱈)
- カウチヤ (ますのすけ) 八、露曆五月十日乃至二十日頃、降雨、爲、河川増水、
時ヲ以テ、大群、ナレ、潮河、シ、始、其、大群、来、僅、數、日、間、過、キ、
美味、紅魚、中、最モ、美味、ナリ、大、サ、三、フ、ト、乃至、三、フ、ト、半、量、目、ハ、二十、フ、ト、
至、二十、フ、ト、(二百、斤、代、ハ、至、) 此、魚、堪察加、ニ、産、シ、他、オホ、ホ、ク、
ギ、シ、ギ、ン、ス、ク、方面、諸、川、ニ、潮、河、セ、又、堪察加、ニ、於、テ、モ、北、方、ヨリ、
中、方、進、シ、隨、ヒ、多、ク、産、ス、ト、ス、

ニ、クリースナヤ(紅鮭)(紅色トシ意)其肉、紅色ナルヲ紅鮭ノ稱アリ、肉ハ脂肪多ク味亦美味ナリ此魚、群来時期ハ、キヤウイヤ(持)ノ續イテ始ル最初數日間、入江ニ止リ翌曆六月五日頃、潮河ヲ始ル大群来ノ漸次散ラ減シ八月初旬迄、海岸ニ近ク遊動ス、紅鮭ノ量目凡ソ貫九ノ反アリ、大群潮河ニ放卵ノ場所(主ニ湖沼於放卵)ニ来三、ハイノ(夏鮭)ハ紅鮭ト交リテ六月十廿頃、群来ニ始ル夏鮭ハ紅魚中産額最モ多シ其群来ニ月間、結ルヲ漸時散ラ減スルモ大抵八月下旬迄、遼期トス、夏鮭群来ニ初メ海ノ深处ヲ選ビテ遊動シ放卵期ノ近ク從テ海岸ニ近ク潮河ニテ常トス此魚放卵、爲湖沼ニ入リテ河川上流、湖上ノ山間、溪流ニ於テ放卵スルヲ四、キレニヤ(秋鮭)ハ秋季寒ニ冷ナル時季ニ群来ス露曆八月下旬ヨリ

九月下旬、遼期トシ時トシハ十月頃迄遊動スリテ時化又ハ強且時ニ於テ潮河ニテ此魚放卵後、再び海ニ出テ僅カニ河上流ニ潮セルモノ、結氷セル終流ニ冬ニ生々存スルヲ其肉、紅鮭ニ相似シトシ少シク黄色ヲ帶ガ

五、鱒ハ、堪察加ニ於テ秋季ニ群来スルヲ常トス量日五ノト(五百早キ)ヤリ、紅魚中價格、口取モ小ナルトス
六、雨鱒ハ、紅魚トシテ大ニ價値ヲ有セルヲ以テ(他種魚ニ比シテ)堪察加地方ニ於テ漁獲スル者多シ

○ 露國義勇艦隊汽船ニ無線電(信機)装置
本年、堪察加終航トシテ同方面ニ迎航セルカライマ号ノハ最

十六日間三度時化遭遇シ非常ナル難航海ヲ遂ゲタルが同船ノ命
當リ甚ク苦ガキ経験ニ徴スルニ遠隔地殊ニ通信機関不備トシ各方面
ヲ航海スル船舶ニ無線電信機ヲ装置スルニ必要ヲ認ミテ這回露國
義勇艦隊ハ来年三月迄ニ今艦隊全船ニ之ヲ装置ヲトシ尚港
察加航路用トシ目下新造中ニモ及ボラスヤ浦潮間ノ定期船ニ
裝置トスル

因ニ堪察加沿岸ノ無線電信局ハハトハウロフスクニ在リ
公衆電報ヲ取扱、其料金露國内地ニ一語五哥、日本ハハ
一語(十語)ニシテ以テ六十八哥而シテ通信連絡ハ黒龍江ニ至リ
ウスクニ至ル

8

○アレクサンドルスク(北部樺太)築港
露曆十月十日浦汐斯德港務局ニ於テ治黑龍總督ゴダークノ議長
ノ下ニ露國太平洋沿岸港灣修築問題ニ関スル會議ヲ開催
セラレタルが其結果第一樺太アレクサンドルスク築港ヲ必要ト認メタル